PENTAX®

PENTAX PHOTO Browser™ 2.1
PENTAX PHOTO Laboratory™ 2.1

使用説明書

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は、本製品で作成した画像をWindowsパソコンまたはMacintoshで楽しむためのソフトウェア「PENTAX PHOTO Browser 2.1」「PENTAX PHOTO Laboratory 2.1」の説明書です。本製品および「PENTAX PHOTO Browser 2.1」「PENTAX PHOTO Laboratory 2.1」の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に別冊のカメラ使用説明書および本書をよくお読みください。
また、カメラ使用説明書および本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
PENTAX PHOTO Browser、PENTAX PHOTO Laboratory、PENTAX REMOTE Assistant はペンタックス株式会社の商標です。
SDロゴは商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

免責事項

- お客様が本ソフトウェアをご使用になることによって発生した直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得られるべき利益の損失、および本ソフトウェアに起因する第三者との係争等に対し、いかなる場合においても当社は一切責任を負わないものとします。
- 本ソフトウェアの仕様は予告無く変更されることがあります。

● 本書で使用されている表記の意味は次のようになっています。

メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

本文中のコンピューターの画像表示は、コンピューターの種類によって異なる場合があります。

目次

デジタル写真の世界を楽しもう

デジタルカメラで撮影した写真は、パソコンを活用して整理したり編集加工するなど、さまざまな方法でお楽しみいただけます。

ダイレクトプリント

カメラとPictBridge対応プリンターを直接USBケーブルで接続してプリントします。
（*istDでは対応しません。）

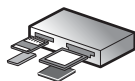
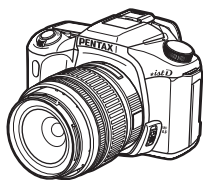
お使いのパソコンは...
- USBインターフェイスを標準装備
- OSはWindows Me/2000/XP、Mac OS 9.01/9.2/X（Ver.10.1以降）

AV機器で見る・録る

カメラとテレビ・DVDレコーダなどのAV機器をAVケーブルでつないで、画像の表示・録画ができます。

カメラとパソコンをUSBケーブルで接続してカメラ内の画像をパソコンに転送できます。

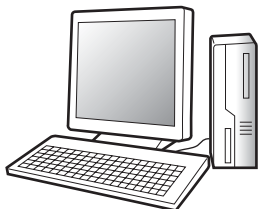
SD

内蔵カードスロット＋PCカードアダプター、カードリーダーなどを使って画像を転送できます。
- カードを取り出して他の機器で転送する場合は、ご使用の機器の説明書もご覧ください。

お店でプリント

カードに保存した画像をプリントショップでプリントできます。
- カメラでDPOF設定をしてプリントショップでプリント
- ショップでプリントする画像を選ぶ

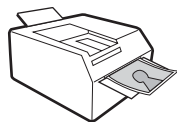
インターネットで活用

パソコンに転送した画像は、メールソフトを使用してメールに添付して送ったり、ホームページの素材として利用することができます。

- メールへの添付方法などについては、ご使用のメールソフトの説明書をご覧ください。
- ホームページの素材としてご利用の場合は、ご使用のソフトの説明書をご覧ください。

PENTAX PHOTO Browser 2.1（p.22～p.75）
PENTAX PHOTO Laboratory 2.1（p.76～p.97）

- 画像の表示
- 画像の整理保存
- 画像の印刷
- 画像ファイル名の一括変更
- 画像情報の一括保存
- PENTAX仕様RAWデータの展開処理

リサイズ、トリミングなどの画像加工は市販の画像処理ソフトをお使いください。

プリントする

パソコンに転送した画像は、プリンターで印刷することができます。
プリンターによっては、直接メモリーカードから印刷できるタイプもあります。

- 詳しくは、ご使用のプリンターの説明書をご覧ください。

メディアに保存

パソコンに転送した画像は、CD-Rなどに記録して保存できます。

PENTAX PHOTO Browser 2.1でできること

PENTAX PHOTO Browser 2.1は、デジタルカメラで撮影してコンピューターに保存した画像を表示、印刷、管理するソフトウェアです。
画像が保存されたフォルダを選択すると、フォルダ内にあるPENTAX PHOTO Browser 2.1対応の画像が自動的にサムネイル表示されます。サムネイル画像を選択して画像を大きく表示することができます。
対応ファイルは、拡張子が.bmp（BMP）、.jpg（JPEG）、.pef（RAW）、.pct（PICT）、.png（PNG）、.tif（TIFF）の6種類です。

本書では、PENTAX PHOTO Browser 2.1、PENTAX PHOTO Laboratory 2.1について、Windows XP環境で使用するときの画面で説明しています。
Macintoshでお使いの場合、操作はほぼ同じですがキー操作などが若干異なります。違いについては「Macintoshでは～」と書かれた補足説明、またはオンラインヘルプをご覧ください。

付属のソフトウェアのご紹介

*ist DL2付属のCD-ROM（S-SW43）には、次のソフトウェアが含まれています。
- PENTAX PHOTO Browser 2.1
- PENTAX PHOTO Laboratory 2.1

PENTAX PHOTO Browser 2.1

PENTAX PHOTO Browser 2.1では、次のことができます。
- 画像ファイルの名称変更、コピー、切り取り、貼り付け、回転、削除、ファイルタイプの変更、保存
- フォルダの新規作成、名称変更、コピー、切り取り、貼り付け、削除
- 撮影情報一覧の保存
- 画像の撮影情報の確認
- RAW画像の簡易表示
- 画像の印刷

また、PENTAX PHOTO Browser 2.1から、RAW画像展開ソフトウェアPENTAX PHOTO Laboratory 2.1およびPENTAX REMOTE Assistant[*1]を起動することができます。

*1：PENTAX REMOTE Assistantは、*ist Dと組み合わせた場合のみ使用できます。

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1

PENTAXデジタルカメラ専用フォーマットで記録されたCCD RAW画像データに対して色分解処理などの展開処理を行い、市販の画像閲覧・編集ソフトウェアで表示できる形で保存できます。
PENTAX PHOTO Laboratory 2.1は、単独で起動することもできます。

システム環境について

カメラからパソコンに画像を転送し、PENTAX PHOTO Browser 2.1およびPENTAX PHOTO Laboratory 2.1をインストールして使用するには、次のシステム環境が必要です。

Windowsのシステム環境

● USB接続

- Windows Me/2000/XP（Home Edition・Professional）がプリインストールされたパソコン
- USBポートが標準で搭載されていること

● アプリケーションソフト

<PENTAX PHOTO Browser 2.1およびPENTAX PHOTO Laboratory 2.1>
（9言語対応：英・仏・独・西・伊・露・中［繁体字／簡体字］・韓・日）

- OS　Windows Me/2000
  Windows XP（Home Edition・Professional）
- CPU　Pentium III以上（Pentium 4以上を推奨）
- メモリ　256MB以上（512MB以上を推奨）
- モニタ　1024×768（1280×1024以上を推奨）で24bitフルカラー（約1677万色）表示可能なもの
- ハードディスクの空容量250MB以上（500MB以上を推奨）

- Windows 95/98/NTでは、USBケーブルを利用したファイル転送ならびに付属アプリケーションソフトを使用することはできません。
- カメラをパソコンに接続するときには、ACアダプターのご使用をお奨めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れたり、メモリーカードが、破損する恐れがあります。

Macintoshのシステム環境

● USB接続

- Mac OS 9.01/9.2/X（Ver.10.1以降）がプリインストールされたMacintosh
- USBポートが標準で搭載されていること

※ドライバのインストールは必要ありません。

● アプリケーションソフト

＜PENTAX PHOTO Browser 2.1およびPENTAX PHOTO Laboratory 2.1＞
（9言語対応：英・仏・独・西・伊・露・中［繁体字／簡体字］・韓・日）

- OS　Mac OS 9.0以上（CarbonLib 1.5以上が必要）
  Mac OS X 10.1.3以降
- CPU　PowerPC G3以上（G4 1.0GHz以上を推奨）
- メモリ　256MB以上（512MB以上を推奨）
- モニタ　1024×768（1280×1024以上を推奨）で24bitフルカラー（約1677万色）表示可能なもの
- ハードディスクの空容量250MB以上（500MB以上を推奨）

- カメラをパソコンに接続するときには、ACアダプター（別売品）のご使用をお奨めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れたり、メモリーカードが、破損する恐れがあります。
- Mac OS 8.6では、USBケーブルを利用したファイル転送はできません。

ソフトウェアをインストールする

PENTAX PHOTO Browser 2.1と、PENTAX PHOTO Laboratory 2.1をインストールします。
*istDおよび*istDs、*istDLに添付のPENTAX PHOTO BrowserやPENTAX PHOTO Laboratoryがすでにインストールされているパソコンにインストールする場合は、そのまま上書きインストールしてください。
*istDs2、*istDL2で撮影したRAWデータを扱うには、必ず添付CD-ROM（S-SW43）のPENTAX PHOTO Browser 2.1とPENTAX PHOTO Laboratory 2.1をインストールしてください。
ご使用のOSがWindows 2000/XPまたはMac OS Xで複数アカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限でログオンしてからインストールを始めてください。

Windowsをご使用の場合

1 パソコンの電源をオンにする

他に起動しているソフトがあれば、終了させてください。

2 付属のCD-ROM（S-SW43）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

- **「PENTAX Software Installer」の画面が表示されない場合**
  以下の手順で「PENTAX Software Installer」の画面を表示させます。
  1) スタートメニューから「マイコンピュータ」をダブルクリックする
  2)「CD-ROMドライブ（S-SW43）」のアイコンをダブルクリックする
  3)「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

3 「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。

4 「PENTAX Digital Camera Utility」をクリックする

5 言語選択ウィンドウで日本語「Japanese（日本語）」を選択し、［OK］ボタンをクリックする

その他の言語でインストールする場合は、インストールする言語を選択してください。

メモ

ご使用のパソコン環境によっては、言語の選択は自動的に行われる場合があります。その場合は手順**6**のインストーラーが起動しますので、そのままインストールを進めてください。

6 日本語インストーラーが起動したら、［次へ］ボタンをクリックする

7 インストール先のフォルダ名称を確認し、そのままでよければ［次へ］ボタンをクリックする

8 ファイルをコピーするための確認をし、［次へ］ボタンをクリックする

ファイルのコピーを開始します。

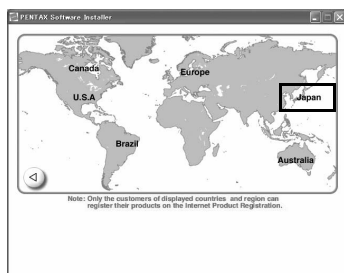
9 インストールが終了して完了メッセージが表示されたら、［完了］ボタンをクリックする

インストールが終了します。

ユーザー登録する

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

インストール手順**4**（p.8）で表示されるソフトウェアの選択画面で、「ユーザー登録」をクリックします。
図のような地図画面が表示されたら、「Japan」をクリックしてください。パソコンがインターネットに接続できる環境にあれば、弊社ホームページのユーザー登録画面が表示されます。画面の指示に従って、登録の作業を行ってください。

ユーザー登録画面が表示されない場合は、下記アドレスから直接アクセスしてください。
https://service.pentax.jp/pentax/user

Macintoshをご使用の場合

1 Macintoshの電源をオンにする

他に起動しているソフトがあれば、インストールの前に終了させてください。

2 付属のCD-ROM（S-SW43）をMacintoshのCD-ROMドライブにセットする

3 CD-ROM（S-SW43）のアイコンをダブルクリックする

CD-ROMの内容が表示されます。

4 「PENTAX Installer」のアイコンをダブルクリックする

「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

5 「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。

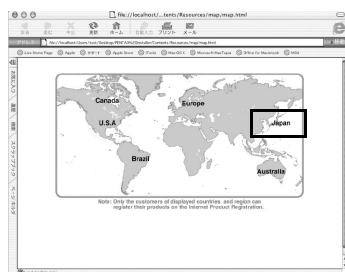
6 **ご使用のOSに合わせて、OS選択ボタンをクリックする**

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

ユーザー登録する

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

インストール手順**6**（p.12）で表示されるソフトウェアの選択画面で、「ユーザー登録」をクリックします。
図のような地図画面が表示されたら、「Japan」をクリックしてください。パソコンがインターネットに接続できる環境にあれば、弊社ホームページのユーザー登録画面が表示されます。画面の指示に従って、登録の作業を行ってください。

ユーザー登録画面が表示されない場合は、下記アドレスから直接アクセスしてください。
https://service.pentax.jp/pentax/user

画像をコンピューターに保存する

デジタルカメラで撮影した画像をコンピューターに保存します。
カメラとパソコンをケーブルで接続して保存する方法とそれ以外の方法について、説明します。

カメラとパソコンを接続して画像を保存する（Windowsの場合）

カメラの「転送モード」を「PC」に設定する

*istDL2の場合を例に説明します。*istDでは、「転送モード」の設定は必要ありません。「カメラとパソコンを接続する」（p.14）に進んでください。

1 カメラのMENUボタンを押す

「撮影」または「再生」メニューが表示されます。

2 十字キー（▶）を押して「詳細設定」メニューを表示する

3 十字キー（▲▼）を押して「転送モード」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

5 十字キー（▲▼）で「PC」を選ぶ

「転送モード」の設定は、接続機器によって変更します。

パソコンと接続する場合

「PC」　＝USB2.0（ハイスピード対応）
「PC-F」＝USB1.1（フルスピード対応）

プリンターで印刷する場合

「PictBridge」（対応プリンターのみ可能）

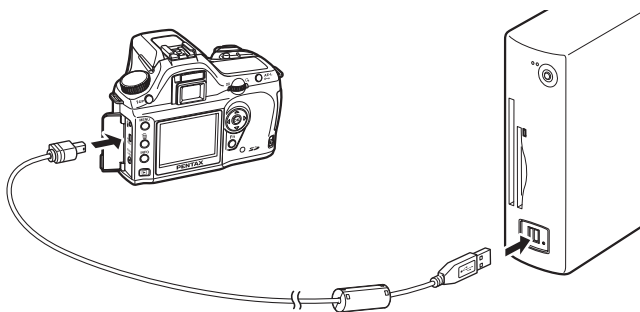
6 カメラのOKボタンを押す

- 「転送モード」を「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。
- パソコン側のUSB転送速度がカメラより遅い場合、データ転送時にエラーが発生する場合があります。その場合は「PC-F」を選択してください。「PC-F」ではデータ転送がUSB1.1固定になり、エラーが発生しにくくなります。

カメラとパソコンを接続する

1 パソコンの電源をオンにする

2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続する

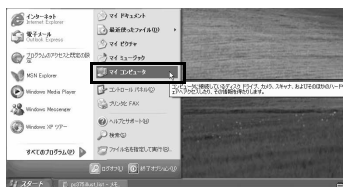
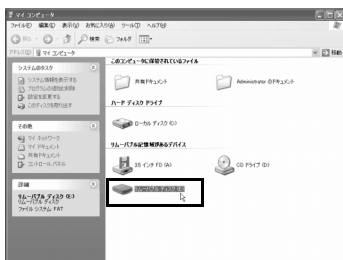
カメラにメモリーカードが入っていることを確認してください。

3 カメラの電源をオンにする

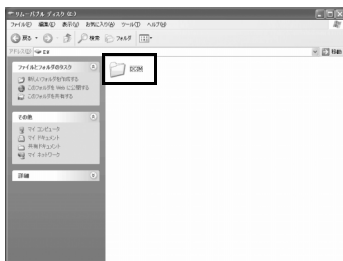
カメラは「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。

- Windows XPで「リムーバブルディスク」ダイアログが表示された場合は、最下段の「フォルダを開いてファイルを表示する エクスプローラ使用」を選択してOKボタンをクリックします。p.15の手順**3**の画面が表示されます。
- Windows XPの場合、メモリーカードにボリュームラベルがついていると、「リムーバブルディスク」と表示されずにボリュームラベル名に記載されている内容が表示されます。フォーマットされていない新しいメモリーカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

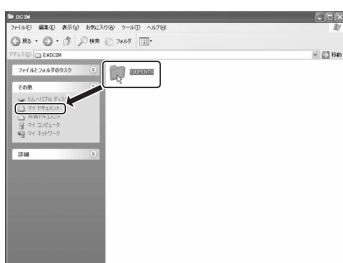
カメラの画像をパソコンに保存する

ここでは、Windows XPでの手順を説明します。

1 スタートメニューの「マイコンピュータ」をクリックする

2 ［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックする

3 [DCIM]アイコンをダブルクリックする

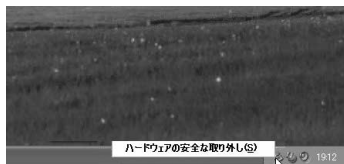
「xxxPENTX」(xxxは、3桁の数字)フォルダが表示されます。
このフォルダの中にカメラの画像ファイルがあります。

フォルダ名の付け方を「日付」にした場合は、「xxx_MMDD（MMDDは画像の撮影月日)」フォルダが表示されます。(カメラ使用説明書p.171)

4 パソコンのデスクトップや「マイドキュメント」フォルダなど任意のフォルダに、「xxxPENTX」または「xxx_MMDD」フォルダをドラッグ＆ドロップする

カメラの画像がフォルダごとパソコンに保存されます。

カメラをパソコンから取り外す

Windows XP

1 タスクバーの（ホットプラグアイコン）をダブルクリックする

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2 「USB 大容量記憶装置デバイス」が選択されていることを確認して［停止］ボタンをクリックする

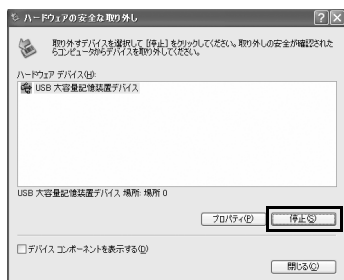
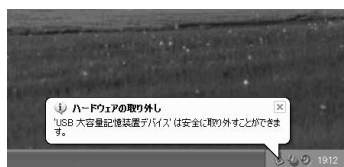
「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択して［OK］ボタンをクリックする

取り外し許可のメッセージが表示されます。

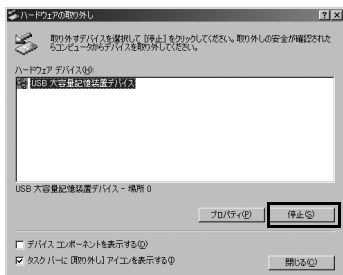
4 ［OK］ボタンをクリックする

5 カメラの電源をオフにして、USBケーブルをパソコンとカメラから取り外す

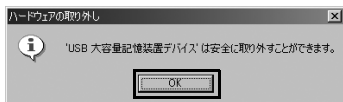
Windows Me/2000

1 **デスクトップ右下のステータスバーの（ホットプラグアイコン）をダブルクリックする**

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。

2 **「USB 大容量記憶装置デバイス」が選択されていることを確認して［停止］ボタンをクリックする**

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 **「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択して［OK］ボタンをクリックする**

取り外し許可のメッセージが表示されます。

4 **［OK］ボタンをクリックする**

5 **カメラの電源をオフにして、USB ケーブルをパソコンとカメラから取り外す**

アプリケーション等でリムーバルディスク内のファイルを使用中の場合、USB大容量記憶装置デバイスは停止できません。

カメラとMacintoshを接続して画像を保存する（Macintoshの場合）

カメラのUSB接続モードを「PC」に設定する

*ist DL2 の場合を例に説明します。*ist D では、「転送モード」の設定は必要ありません。「カメラとMacintoshを接続する」（p.19）に進んでください。

1 カメラのMENUボタンを押す

「撮影」または「再生」メニューが表示されます。

2 十字キー（▶）を押して「詳細設定」メニューを表示する

3 十字キー（▲▼）を押して「転送モード」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

5 十字キー（▲▼）で「PC」を選ぶ

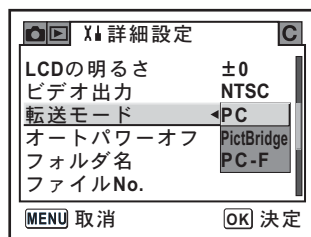
「転送モード」の設定は、接続機器によって変更します。

パソコンと接続する場合

「PC」 ＝USB2.0（ハイスピード対応）
「PC-F」＝USB1.1（フルスピード対応）

プリンターで印刷する場合

「PictBridge」（対応プリンターのみ可能）

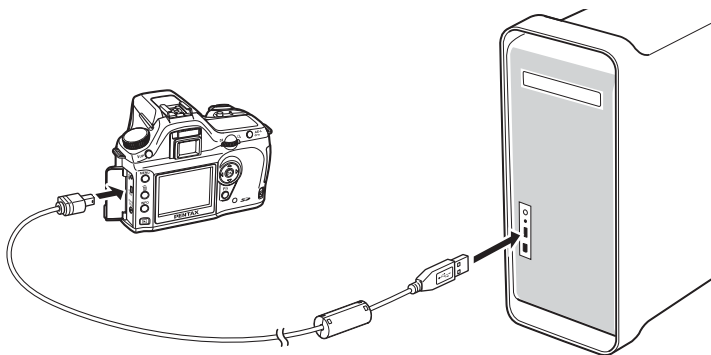
詳細設定 C
LCDの明るさ ±0
ビデオ出力 NTSC
転送モード ◂PC
オートパワーオフ PictBridge
フォルダ名 PC-F
ファイルNo.
MENU 取消 OK 決定

6 カメラのOKボタンを押す

- 「転送モード」を「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。
- パソコン側のUSB転送速度がカメラより遅い場合、データ転送時にエラーが発生する場合があります。その場合は「PC-F」を選択してください。「PC-F」ではデータ転送がUSB1.1固定になり、エラーが発生しにくくなります。

カメラとMacintoshを接続する

1　Macintoshの電源をオンにする

2　カメラの電源をオフにして、USBケーブルでMacintoshとカメラを接続する

カメラにメモリーカードが入っていることを確認してください。

3　カメラの電源をオンにする

カメラはデスクトップ上の「NO_NAME（メモリーカードにボリュームラベルが記載されている場合はその名称）」として認識されます。

フォルダ名は変更できます。

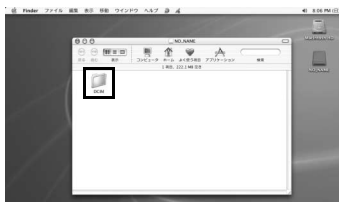
iPHOTOの画面が表示されたときは、終了してください。

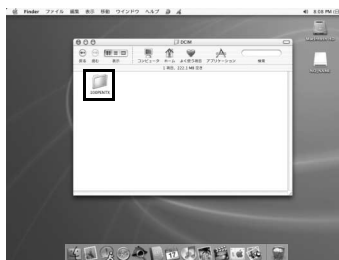
Mac OS 9.0 の場合、「名称未設定（メモリーカードにボリュームラベルが記載されている場合はその名称）」として認識されます。

カメラの画像をMacintoshに保存する

Mac OS X （Ver. 10.2）での例を示します。

1 デスクトップ上の［NO_NAME］アイコンをダブルクリックする

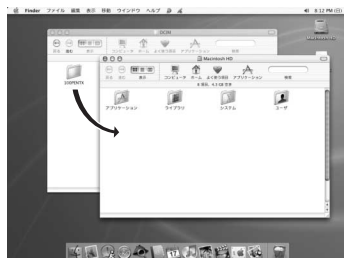
2 ［DCIM］アイコンをダブルクリックする

「xxxPENTX」（xxxは、3桁の数字）フォルダが表示されます。

このフォルダの中にカメラの画像ファイルがあります。

フォルダ名の付け方を「日付」にした場合は、「xxx_MMDD（MMDDは画像の撮影月日）」フォルダが表示されます。（カメラ使用説明書p.171）

3 デスクトップ上の［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックする

「Macintosh HD」フォルダが開きます。

4 **「Macintosh HD」フォルダなど任意のフォルダに、「xxxPENTX」または「xxx_MMDD」フォルダをドラッグ＆ドロップする**

カメラの画像がフォルダごと「Macintosh HD」フォルダに保存されます。

カメラをMacintoshから取り外す

1 **デスクトップ上の「NO_NAME（メモリーカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）」をごみ箱にドラッグする**

2 **カメラの電源をオフにして、USBケーブルをMacintoshとカメラから取り外す**

その他の方法で画像を保存する

画像が保存されたメモリーカードはカードリーダーやカードアダプターを使用すると、カメラとコンピューターをUSBケーブルで接続することなく、直接コンピューターに画像ファイルを転送することができます。詳しくは、お使いのコンピューターやカードリーダーの使用説明書をご覧ください。

PENTAX PHOTO Browser 2.1

PENTAX PHOTO Browser 2.1の起動方法と終了方法、PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウの見かたとその機能について説明します。

PENTAX PHOTO Browser 2.1を起動する

Windowsの場合

1 デスクトップ画面でスタートメニューを選択する

2 プログラムメニューから「PENTAX Digital Camera Utility」の中の「PENTAX PHOTO Browser」を選択する

PENTAX PHOTO Browser 2.1が起動し、PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウが表示されます。

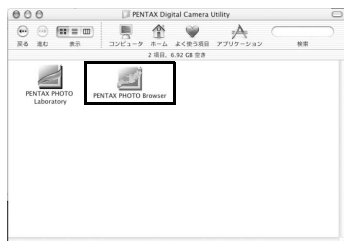
● **PENTAX PHOTO Browser 2.1を終了するには**

PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウの「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

Macintoshの場合

1 ハードディスク上の「アプリケーション」の中の「PENTAX Digital Camera Utility」フォルダをダブルクリックする

2 「PENTAX PHOTO Browser」のプログラムアイコンをダブルクリックする

PENTAX PHOTO Browser 2.1が起動し、PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウが表示されます。

● **PENTAX PHOTO Browser 2.1を終了するには**

デスクトップ上部のメニューバーで、「PENTAX PHOTO Browser」メニューの「PENTAX PHOTO Browserの終了」を選択します。

PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウについて

PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウの構成、名称、機能について説明します。
各ペインの区切りは左右上下に自由に位置を変えられます。アドレスバー、フォルダツリーペイン、撮影情報ペイン、プレビューペインの上でダブルクリックあるいはドラッグすると取り外され、任意の位置に移動できます。また各ペイン右上の☒をクリックすると、ペインが閉じます。（Macintosh版では、クリックあるいは余白をドラッグすると外れます。）
（デフォルトの配置）をクリックすると、初期設定の配置に戻ります。

● アドレスバー
現在表示されているフォルダのアドレスが表示されます。
バーの上でダブルクリックするとアドレスバーが取り外され、任意の位置に移動できます。（Macintosh版では、クリックあるいは余白をドラッグすると外れます。）

● フォルダツリーペイン
コンピューターの内部のデータがフォルダツリー形式で表示されます。
ここで画像ファイルが保存されているフォルダを選択します。
また、フォルダの新規作成やフォルダの削除、フォルダの移動／コピーなどの操作をフォルダツリーペインで行います。
バーの上でダブルクリックあるいはドラッグするとフォルダツリーペインが取り外され、任意の位置に移動できます。（Macintosh版では、クリックあるいは余白をドラッグすると外れます。）

● サムネイルペイン
フォルダツリーペインで選択したフォルダ内のファイルが表示されます。ファイルの表示方法は5種類から選択することができます。サムネイルペインで対応する画像ファイルを選択すると、プレビューペインに画像が、撮影情報ペインに撮影情報が表示されます。

● プレビューペイン
サムネイルペインで選択した画像が表示されます。
バーの上でダブルクリックするとプレビューペインが取り外され、任意の位置に移動できます。（Macintosh版では、クリックあるいは余白をドラッグすると外れます。）

● 撮影情報ペイン
サムネイルペインで選択された画像の撮影情報が表示されます。
バーの上でダブルクリックすると撮影情報ペインが取り外され、任意の位置に移動できます。（Macintosh版では、クリックあるいは余白をドラッグすると外れます。）
ペイン上部のセル幅を示す線にカーソルを合わせてドラッグすると、セル幅を変更できます。（Macintosh版では任意の位置でドラッグしてセル幅を変更できます。）
表示される項目は以下のとおりです。

情報	概要	表示例
レンズ名称	レンズの種類を表示	smc PENTAX-FA 50mmF1.4
撮影時焦点距離	撮影時の焦点距離（mm）	50mm
シャッタースピード	撮影時のシャッタースピード（秒）	1/250sec
絞り	撮影時の絞り値	F8.0

情報	概要	表示例
撮影モード	撮影時の撮影モード*1	オートピクチャー：標準
測光モード	撮影時の測光モード	分割測光
ホワイトバランス	ホワイトバランスモード	オート
色温度	色温度（単位：ケルビン）*2	-----
微調整A–B	Amber（黄）– Blue（青）の微調整 *2	-----
微調整M–G	Magenta（赤）– Green（緑）の微調整 *2	-----
感度	撮影時のISO感度	200
記録サイズ	記録画素数	3008×2000
画質	記録画質	ファイン
露出補正	露出補正	0.0
AFモード	撮影時のAFモード	シングル
AFエリアモード	撮影時のAFエリアモード	オート
色空間	色空間モード	sRGB
画像仕上	画像の仕上げ設定	鮮やか
彩度	彩度設定	標準
シャープネス	シャープネス設定	標準
コントラスト	コントラスト設定	標準
ドライブモード	撮影時のドライブモード設定	シングル
ストロボモード	撮影時のストロボモード設定	発光禁止
ブラケット	撮影時のブラケット設定	OFF
多重露出	撮影時の多重露出設定	OFF
ソフトウェアバージョン	最後に画像を保存したソフトウェアのバージョン *3	*ist DL2 Ver 1.00
撮影日時	撮影した日時	2006/01/25 10:00:00
カメラ名称	カメラの名前	PENTAX *ist DL2

*1：*ist DL2のSCNモードで撮影すると、PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウの撮影情報ペインの撮影モードは「---」表示になります。
*2：PENTAX PHOTO Laboratory 2.1での処理内容が表示されます。
*3：撮影したままの画像では、カメラのファームウェアの情報が表示されます。

● ステータスバー

PENTAX PHOTO Browser 2.1の状況が表示されます。
表示されるのは、次の情報です。

- 選択しているフォルダのオブジェクト数、合計サイズ（下位フォルダを含まない）、または選択されたオブジェクトの数と合計サイズ
- 選択しているドライブの空き領域
- サムネイル読み込み処理中の進捗状況をバーで表示
- ローカルディスク／リムーバブルディスク／ネットワークの区別

メニューバー

PENTAX PHOTO Browser 2.1の機能の実行や各種設定を行います。
Macintosh版ではメニューはデスクトップ上部に表示されます。

「ファイル」メニュー	
フォルダの新規作成	フォルダツリーペインで指定した場所に新しいフォルダを作成します。（p.73）
開く	選択したフォルダを開きます。またはサムネイルペインで選択した画像を新規の主画像表示ウィンドウに表示します。
名前の変更	選択したファイルまたはフォルダの名前を変更します。（p.71）
名前の一括変更...	選択した複数のファイルの名称を一括して変更します。（p.72）
ページ設定...	印刷するときの余白やヘッダ／フッタの設定、印刷部数の設定などを行います。（p.57）
印刷...	選択した画像ファイルを印刷します。（p.52）
プロパティ	選択したファイルまたはフォルダのプロパティを表示します。（p.74）
終了	PENTAX PHOTO Browser 2.1を終了します。（Macintosh版では、「PENTAX PHOTO Browser」メニューの「PENTAX PHOTO Browserの終了」を選択します。）

「編集」メニュー	
元に戻す	直前のファイル操作を取り消します。
切り取り	選択しているファイルまたはフォルダを別の場所に移動する準備をします。（p.67）
コピー	選択しているファイルまたはフォルダをコピーします。（p.67）
貼り付け	「切り取り」または「コピー」したファイルまたはフォルダを、選択したフォルダにコピーします。（p.67）
削除	選択したフォルダまたは画像を削除します。フォルダを選択した場合、フォルダのファイルごと削除されますので注意してください。（p.70）
選択画像をチェック	選択したファイルをチェックします。
選択画像をチェックアウト	選択したファイルのチェックを外します。
すべてをチェックアウト	すべての画像のチェックを外します。

「編集」メニュー	
すべてを選択	現在開いているフォルダ内のすべてのファイルを選択状態にします。
選択範囲の反転	現在開いているフォルダ内で選択されているファイルを非選択に、選択されていないファイルを選択状態にします。

「表示」メニュー	
ツールバー	ツールバーを表示／非表示にします。
フォルダツリー	フォルダツリーペインを表示／非表示にします。
プレビュー	プレビューを表示／非表示にします。
アドレスバー	アドレスバーを表示／非表示にします。
ステータスバー	ステータスバーを表示／非表示にします。
撮影情報	撮影情報を表示／非表示にします。
デフォルトの配置	各ペインを初期設定の配置に戻します。
フィルタ	サムネイルペインに表示するファイルの種類を選択します。チェックを外すと非表示になります。選択できるのは、次の4種類です。 「PENTAX画像」：ペンタックスのカメラで撮影した画像 「その他画像」：ペンタックスのカメラで撮影した以外の画像（JPEG、TIFF、BMP、PNG、PICT） 「フォルダ」：フォルダ 「その他」：PENTAX PHOTO Browser 2.1に対応していないファイル
並び替え	サムネイルペインに表示するオブジェクトの表示順と昇順か降順かを選択します。 表示順として、ファイル名、ファイルサイズ、ファイル日時、ファイル種別、撮影日時、画像サイズ、レンズ名が選択できます。
サムネイルキャプション	サムネイルペインに表示するオブジェクトのキャプションを選択します。初期設定では、ファイル名、ファイル日付、ファイル時刻がすべて表示されます。
サムネイル最小	サムネイルペインのサムネイルを最小サイズで表示します。
サムネイル小	サムネイルペインのサムネイルを小サイズで表示します。
サムネイル中	サムネイルペインのサムネイルを中サイズで表示します。
サムネイル大	サムネイルペインのサムネイルを大サイズで表示します。

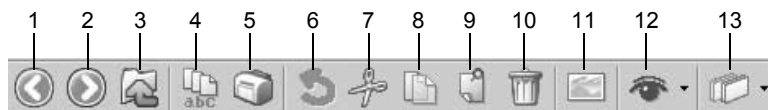
「表示」メニュー	
詳細	サムネイルペインを画像無しの詳細情報表示にします。
移動	「戻る」で直前に開いていたフォルダへ、「進む」で「戻る」で戻る前に開いたフォルダへ、「上へ」で上位のフォルダに移動します。
スライドショウ	選択あるいはチェックされている画像を順番に表示します。（p.49）

「ツール」メニュー	
撮影情報一覧保存...	チェックボックスを使って複数のフォルダの画像情報を一括してCSV形式でファイルに保存できます。何もチェック、または選択しなければカレントフォルダの画像情報をすべて保存します。（p.48）
PENTAX PHOTO Laboratory	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1を起動します。対象となる画像ファイルはPENTAX PHOTO Browser 2.1のサムネイルペインで指定します。（p.76）
PENTAX REMOTE Assistant*1	PENTAX REMOTE Assistantを起動します。PENTAX REMOTE AssistantがPENTAX PHOTO Browser 2.1と同じフォルダにインストールされていて、なおかつ*istDと組み合わせた場合のみ使用できます。
オプション...	PENTAX PHOTO Browser 2.1の各種設定を行います。（p.60）

「ヘルプ」メニュー	
目次	PENTAX PHOTO Browser 2.1ヘルプの目次を表示します。
キーワード	PENTAX PHOTO Browser 2.1 ヘルプのキーワード検索を表示します。（Macintosh版ではこのコマンドはありません。）
ポップアップヒント	クリックすると、ポップアップヒントモードに入り、続いてクリックしたアイコンやコマンドのポップアップヒントが表示されます。
バージョン情報	PENTAX PHOTO Browser 2.1のバージョン情報を表示します。（Macintosh版では「PENTAX PHOTO Browser」メニューの「PENTAX PHOTO Browserについて」を選択します。）

*1：PENTAX REMOTE AssistantはCD-ROM（S-SW43）に入っていません。弊社のインターネットホームページからダウンロードしてください。
なお、すでにPENTAX REMOTE Assistantがインストールされている場合には、そのままご利用いただけます。

ツールバー

頻繁に使用する機能が、ツールバーの各ボタンとして用意されています。ツールバーを使うと簡単に実行することができます。
バーの上でダブルクリックするとツールバーが取り外され、任意の位置に移動できます。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	[戻る]	直前に開いていたフォルダを開きます。
2	[進む]	[戻る] で戻る前に開いていたフォルダを開きます。
3	[上へ]	上位のフォルダに移動します。
4	[名前の一括変更...]	選択した複数のファイルの名称を一括して変更します。（p.72）
5	[印刷...]	選択した画像ファイルを印刷します。（p.52）
6	[元に戻す]	直前のファイル操作を取り消します。
7	[切り取り]	選択しているファイルまたはフォルダを別の場所に移動する準備をします。（p.67）

番号	アイコン（ボタン）	内容
8	［コピー］	選択しているファイルまたはフォルダをコピーします。（p.67）
9	［貼り付け］	［切り取り］または［コピー］したファイルまたはフォルダを、選択したフォルダにコピーします。（p.67）
10	［削除］	選択したファイルまたはフォルダを削除します。（p.70）
11	［画像の表示］	選択した画像ファイルを主画像表示ウィンドウで表示します。（p.38）
12	［フィルタ］	▼をクリックしてサムネイルペインに表示するファイルの種類を選択します。チェックを外すと非表示になります。選択できるのは、次の4種類です。 「PENTAX画像」：ペンタックスのカメラで撮影した画像 「その他画像」：ペンタックスのカメラで撮影した以外の画像（JPEG、TIFF、BMP、PNG、PICT） 「フォルダ」：フォルダ 「その他」：PENTAX PHOTO Browser 2.1に対応していないファイル
13	［並び替え］	▼をクリックして表示されるプルダウンメニューからキーとなる項目と昇順降順を選びます。選んだ順に、サムネイルを並べ替えます。
14	［サムネイル最小］	サムネイルペインのサムネイルを最小サイズで表示します。（p.38）
15	［サムネイル小］	サムネイルペインのサムネイルを小サイズで表示します。（p.38）
16	［サムネイル中］	サムネイルペインのサムネイルを中サイズで表示します。（p.38）
17	［サムネイル大］	サムネイルペインのサムネイルを大サイズで表示します。（p.38）

番号	アイコン（ボタン）	内容
18	［詳細］	サムネイルペインの表示を画像無しの詳細情報表示にします。
19	［デフォルトの配置］	PENTAX PHOTO Browser 2.1の画面構成を初期設定に戻します。
20	［スライドショウ］	選択あるいはチェックされている画像を順番に表示します。（p.49）
21	［撮影情報一覧保存...］	指定したPENTAX PHOTO Browser 2.1に対応する画像ファイルの付加情報を、一括してCSV形式でファイルに保存します。（p.48）
22	［PENTAX PHOTO Laboratory］	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1を起動します。対象となる画像ファイルはPENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウで指定します。（p.76）
23	［PENTAX REMOTE Assistant］	PENTAX REMOTE Assistantを起動します。PENTAX REMOTE AssistantがPENTAX PHOTO Browser 2.1と同じフォルダにインストールされていて、なおかつ*istDと組み合わせた場合のみ使用できます。
24	［オプション...］	PENTAX PHOTO Browser 2.1の各種設定を行います。（p.60）
25	［ヘルプ（目次）］	PENTAX PHOTO Browser 2.1ヘルプの目次を表示します。

主画像表示ウィンドウについて

● メニューバー

主画像表示ウィンドウの機能の実行や各種設定を行います。

「ファイル」メニュー	
ブラウザ表示	ファイル参照画面を表示します。
開く	「ファイルを開く」ダイアログが開き、ファイルを指定して開くことができます。「新しいウィンドウで開く」にチェックマークを付けてから、ファイルを選択して［開く］ボタンをクリックすると、新しい主画像表示ウィンドウが起動して、選択した画像が表示されます。（p.38）
名前を付けて保存	表示中の画像をJPEG、TIFF、BMP、PNGまたはPICT形式で保存できます。（p.45）

「ファイル」メニュー	
ページ設定...	選択した画像を印刷する場合のページ情報を設定します。（p.57）
印刷	現在開いている画像を印刷します。（p.52）
プロパティ	画像ファイルの情報を表示します。（p.44）
閉じる	主画像表示ウィンドウを閉じます。

「表示」メニュー	
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
撮影情報	撮影情報の表示／非表示を切り替えます。
前の画像	複数の画像をひとつの主画像表示ウィンドウで表示する場合、または単独表示で同じフォルダに画像がある場合、前の画像が表示されます。該当する画像がない場合は、選択できません。
次の画像	複数の画像をひとつの主画像表示ウィンドウで表示する場合、または単独表示で同じフォルダに画像がある場合、次の画像が表示されます。該当する画像がない場合は、選択できません。
スライドショウ	選択あるいはチェックされている画像を順番に表示します。（p.49）
ウィンドウサイズに依存	画像の大きさをウィンドウサイズに合わせます。（p.42）
拡大表示	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を2倍ずつ拡大します。 最大表示倍率は、4倍です。（p.42）
縮小表示	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を1/2倍ずつ縮小します。 最小表示倍率は、1/16倍です。（p.42）
等倍表示	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を等倍にします。（p.42）
左90度回転表示	画像を左に90度回転表示します。この操作でデータは変更されません。
右90度回転表示	画像を右に90度回転表示します。この操作でデータは変更されません。
ウィンドウの整列...	複数開いている主画像表示ウィンドウを整列します。

「ツール」メニュー	
自動画像補正	明るさ、コントラスト、色調などを、自動的に補正します。強または弱が選択できます。
画像データの回転	画像データを回転します。非圧縮画像ではそのまま回転します。未加工のJPEG画像ではロスレス回転処理を行うため、画像を表示する前に「ファイルを保存」ダイアログが開きます。(p.46)
オプション...	PENTAX PHOTO Browser 2.1 の各種設定を行います。(p.60)

「ヘルプ」メニュー	
目次	PENTAX PHOTO Browser 2.1 ヘルプの目次を表示します。
キーワード	PENTAX PHOTO Browser 2.1 ヘルプのキーワード検索を表示します。(Macintosh版ではこのコマンドはありません。)
ポップアップヒント	クリックすると、ポップアップヒントモードに入り、続いてクリックしたアイコンやコマンドのポップアップヒントが表示されます。
バージョン情報	PENTAX PHOTO Browser 2.1のバージョン情報を表示します。(Macintosh版では「PENTAX PHOTO Browser」メニューの「PENTAX PHOTO Browserについて」を選択します。)

● ツールバー

頻繁に使用する機能が、ツールバーの各ボタンとして用意されています。ツールバーを使うと簡単に実行することができます。
「表示」メニューの「ツールバー」のチェックを外すと非表示になります。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	［ブラウザ表示］	ファイル参照画面を表示します。
2	［開く］	「ファイルを開く」ダイアログが開き、ファイルを指定して開くことができます。「新しいウィンドウで開く」にチェックマークを付けてから、ファイルを選択して［開く］ボタンをクリックすると、新しい主画像表示ウィンドウが起動して、選択した画像が表示されます。
3	［名前を付けて保存］	表示中の画像をJPEG、TIFF、BMP、PNGまたはPICT形式で保存できます。（p.45）
4	［印刷］	現在開いている画像を印刷します。（p.52）
5	［プロパティ］	選択したファイルの情報を表示します。（p.44）
6	［前の画像］	複数の画像をひとつの主画像表示ウィンドウで表示する場合、または単独表示で同じフォルダに画像がある場合、前の画像が表示されます。該当する画像がない場合は、クリックできません。
7	［次の画像］	複数の画像をひとつの主画像表示ウィンドウで表示する場合、または単独表示で同じフォルダに画像がある場合、次の画像が表示されます。該当する画像がない場合は、クリックできません。
8	［スライドショウ］	選択あるいはチェックされている画像を順番に表示します。（p.49）
9	［ウィンドウサイズに依存］	画像の大きさをウィンドウサイズに合わせます。（p.42）
10	［縮小表示］	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を1/2倍ずつ縮小します。 最小表示倍率は、1/16倍です。（p.42）
11	［拡大表示］	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を2倍ずつ拡大します。 最大表示倍率は、4倍です。（p.42）

番号	アイコン（ボタン）	内容
12	［等倍表示］	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を等倍（1：1）にします。（p.42）
13	15.84 % ［表示倍率］	現在の表示倍率を表示します。また、表示倍率をリストから選択、または直接倍率を入力して設定することができます。（p.42）
14	［左90度回転表示］	画像表示エリアに表示された画像を左90度（反時計回り）回転させます。（p.41）
15	［右90度回転表示］	画像表示エリアに表示された画像を右90度（時計回り）回転させます。（p.41）
16	［自動画像補正］	をクリックして、 または を選択すると、明るさ、コントラスト、色調などを、自動的に補正できます。強または弱が選択できます。
17	［画像データの回転］	をクリックして、 または を選択すると、画像データを回転できます。未加工のJPEG画像ではロスレス回転処理を行うため、画像を表示する前に「ファイルを保存」ダイアログが開きます。（p.46）
18	［オプション...］	PENTAX PHOTO Browser 2.1 の設定画面が表示されます。各種設定を行います。（p.60）
19	［ヘルプ（目次）］	PENTAX PHOTO Browser 2.1 ヘルプの目次を表示します。

● 画像表示エリア

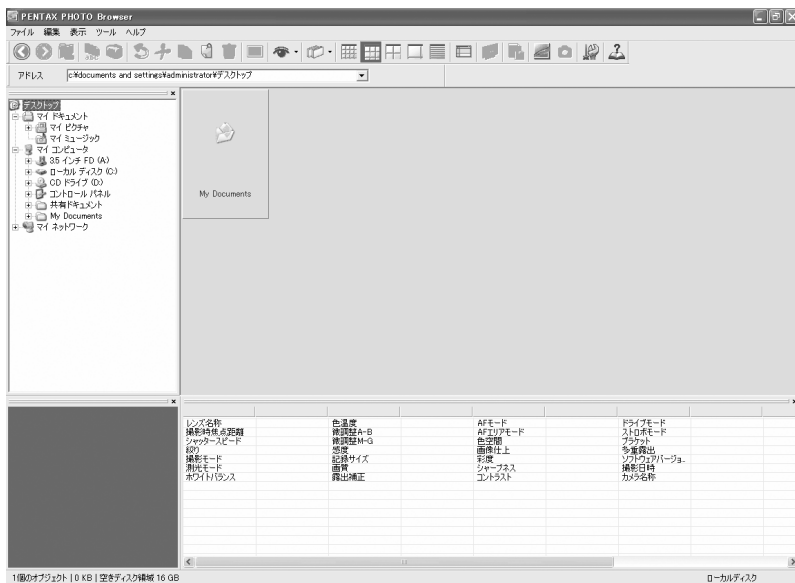
PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのサムネイルペインで選択した画像が表示されます。

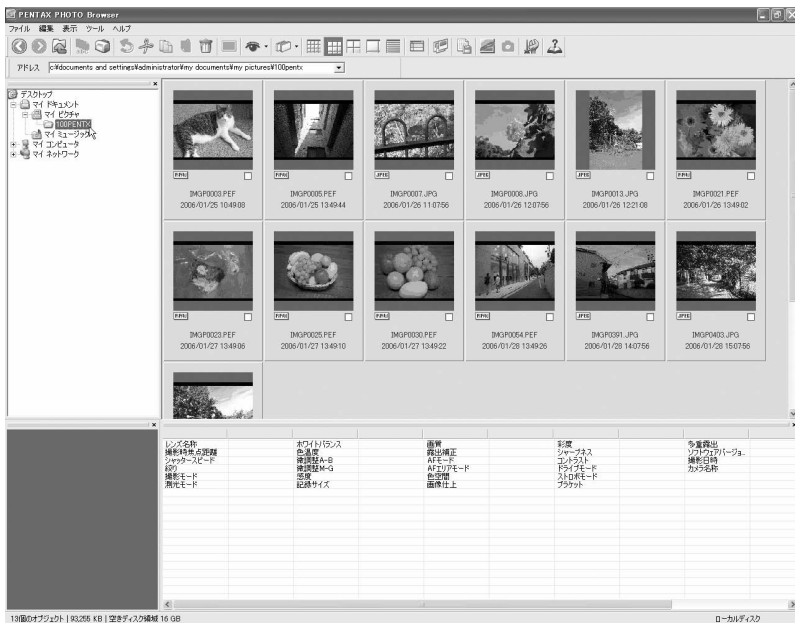
● 撮影情報ペイン

画像表示エリアに表示されている画像の撮影情報が表示されます。
「表示」メニューの「撮影情報」のチェックを外すと非表示となります。
ペイン上部のセル幅を示す線にカーソルを合わせてドラッグすると、セル幅を変更できます。（Macintosh版では任意の位置でドラッグしてセル幅を変更できます。）

画像を表示する

コンピューターに保存されている画像を表示します。

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1を起動する

2 フォルダツリーで表示する画像ファイルが保存されているフォルダを選択する

サムネイルペインに選択したフォルダ内のサムネイル画像が表示されます。

サムネイル画像のサイズを変更することができます。「表示」メニューの「サムネイル最小」「サムネイル小」「サムネイル中」「サムネイル大」を選択します。またはツールバーの、、、ボタンをクリックします。

3 サムネイルペインで画像を選択する

画像は次のどれかの方法で選択できます。

- **画像をクリックして、画像を青枠で囲まれた状態にする**
  Ctrlキーまたは Shiftキーを押しながらクリックすると複数選択できます。（Macintosh版では、Commandキーまたは Shiftキーを押しながらクリックすると、複数選択できます。）
- **画像のチェックボックスをチェック☑する**
  複数の画像が選択できます。複数のフォルダから画像を選択することもできます。

- **画像をクリックして「編集」メニューの「選択画像をチェック」～「選択範囲の反転」を選ぶ**

4 「ファイル」メニューの「開く」を選ぶか、ツールバーのボタンをクリックする

主画像表示ウィンドウが開き、画像が表示されます。

サムネイルで表示する画像ファイルをダブルクリックすると、1ステップで主画像表示ウィンドウが開き、画像が表示されます。

● RAW画像ファイルの表示について

PENTAX PHOTO Browser 2.1では、RAW画像ファイルを主画像表示する方法として「簡易表示」と「自動RAW展開」を選択することができます。（p.62）

簡易表示　：すばやく画像を表示することができますが､画質はよくありません。

自動RAW展開　：RAWデータを実際に展開するので表示するのに時間がかかりますが、美しい画像で表示されます。
展開比率は､「オプション」ダイアログの「表示」タブで3段階に切り替えられます。（p.62）

画像を回転して表示する

画像表示エリアの画像を右方向（時計回り）に90度、180度、270度に回転して表示します。
左方向（反時計回り）に90度、180度、270度に回転して表示することもできます。

1 主画像表示ウィンドウの「表示」メニューから「右90度回転表示」／「左90度回転表示」を選択する
または、ツールバーの 、 ボタンをクリックする

画像が回転して表示されます。

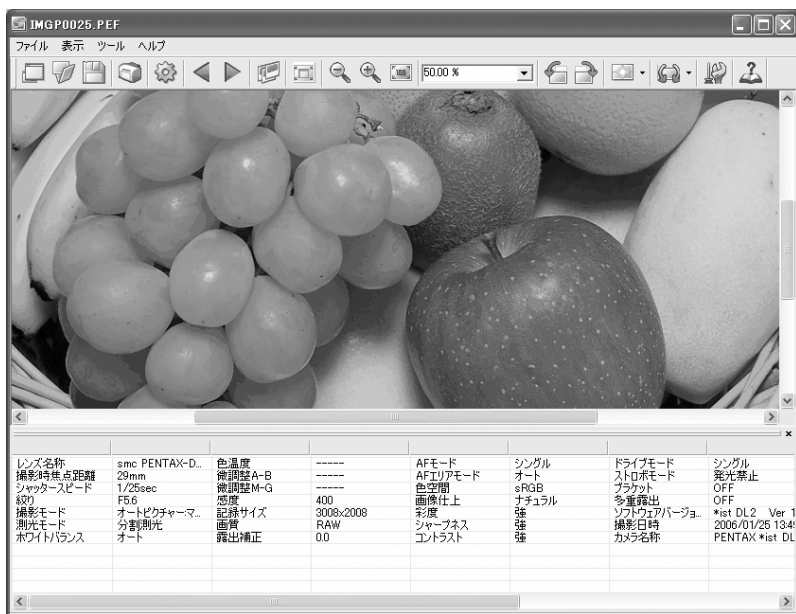
回転した状態で保存する場合は、「ツール」メニューの「画像データの回転」を使います。（p.46）

表示倍率を変更する

画像表示エリアの画像の表示倍率を変更します。

1 主画像表示ウィンドウの「表示」メニューから「ウィンドウサイズに依存」／「拡大表示」／「縮小表示」／「等倍表示」を選択する
または、ツールバーの［ ］／［ ］／［ ］／［ ］ボタンをクリックする

画像の表示倍率は、1/16～4倍まで変更できます。

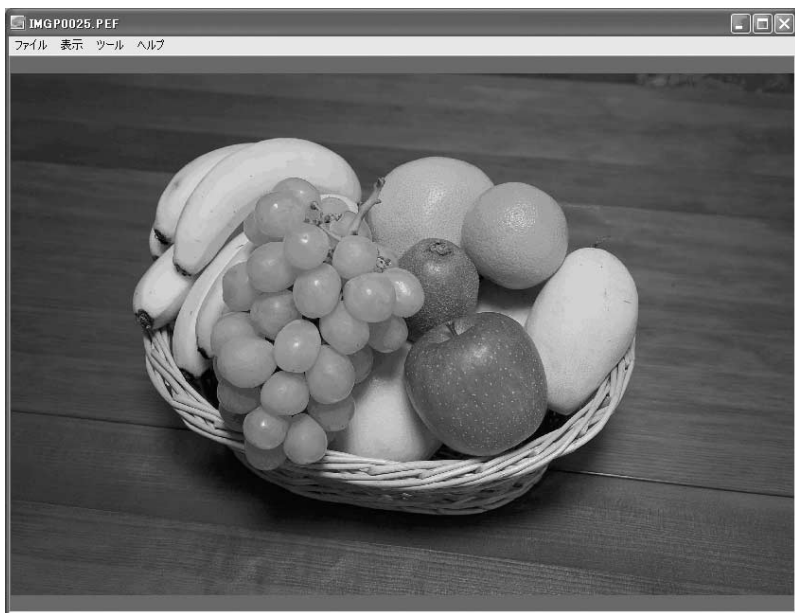
拡大表示の場合

縮小表示の場合

ツールバーの 15.84 % に、直接数値で倍率を入力して拡大•縮小表示することもできます。

ツールバー、撮影情報ペインを非表示にする

主画像表示ウィンドウのツールバー、撮影情報ペインの表示／非表示を設定することができます。

1 主画像表示ウィンドウの「表示」メニューから「ツールバー」、「撮影情報」を選択してチェックマークをはずす

ツールバー、撮影情報ペインが非表示になります。

ツールバーや撮影情報ペインを表示するときは、主画像表示ウィンドウの「表示」メニューから「ツールバー」、「撮影情報」を選択してチェックマークを付けます。

画像のプロパティを表示する

主画像表示ウィンドウに表示されている画像ファイルの情報を表示します。（p.74）

画像を保存する

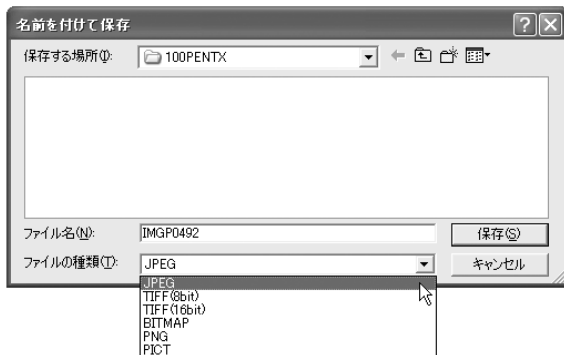
表示されている画像を次のどれかの形式で保存できます。RAWデータを下記の形式で保存すると、一般の画像処理ソフトで表示できるようになります。

JPEG　：撮影情報付のJPEG画像
TIFF（8bit）　：撮影情報付のTIFF画像
TIFF（16bit）　：撮影情報付の高画質TIFF画像
BITMAP　：撮影情報なしのBMP画像
PNG　：撮影情報なしのPNG画像
PICT　：撮影情報なしのPICT画像

1　主画像表示ウィンドウの「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択するか、またはツールバーの ボタンをクリックする

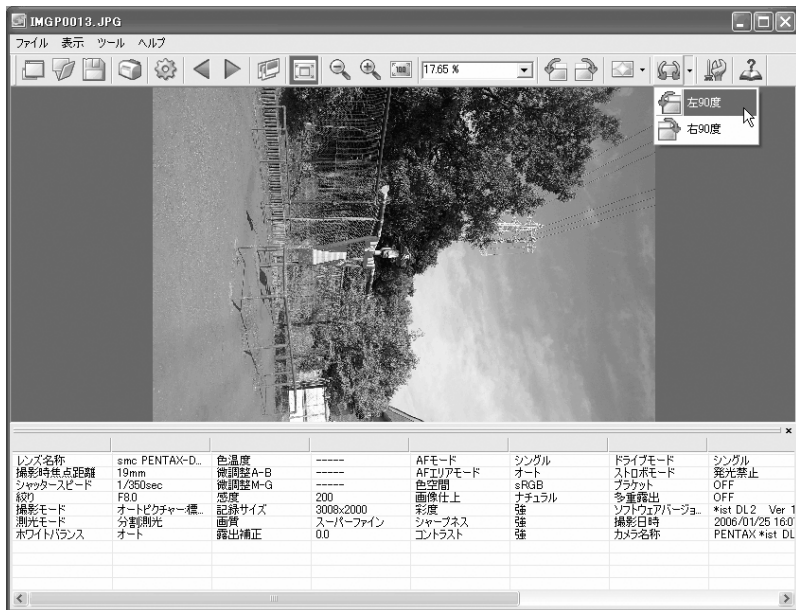
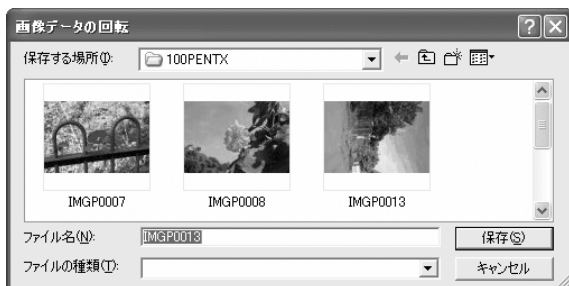
「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

RAWデータが簡易表示または間引き表示されている場合は、フルサイズで展開し直すかどうかの確認ダイアログが表示されます。このダイアログで「いいえ」を選ぶとそのとき表示しているままの画像が保存されます。フルサイズ展開画像より画質は悪くなります。

2　「保存する場所」、「ファイル名」、「ファイルの種類」を指定して［保存］ボタンをクリックする

画像が保存されます。

画像を回転して保存する

表示されている画像のデータを、右または左に90度回転します。画像のサイズによっては、回転に時間がかかることがあります。
保存せずに主画像表示ウィンドウを閉じたり、をクリックすると警告メッセージが表示されます。

1　主画像表示ウィンドウの「ツール」メニューから「画像データの回転」、「左90度」または「右90度」を選択するか、またはツールバーの脇のをクリックし、またはボタンをクリックする

2 「保存する場所」、「ファイル名」、「ファイルの種類」を指定して［保存］ボタンをクリックする

画像が回転して保存されます。

- 未加工のJPEG画像ではロスレス回転処理を行うため、回転後の画像を表示する前に「画像データの回転」ダイアログが開きます。
- RAW画像と加工済みのJPEG画像では、「画像データの回転」ダイアログが表示されません。回転した画像を保存するには、主画像表示ウィンドウの「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択するか、またはツールバーの ボタンをクリックしてください。

撮影情報の一覧を保存する

チェックボックスを使って複数のフォルダの画像情報を一括してCSV形式でファイルに保存できます。何もチェック、または選択しなければカレントフォルダの画像情報をすべて保存します。

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウで「ツール」メニューから「撮影情報一覧保存...」を選択するか、またはツールバーの ボタンをクリックする

「撮影情報一覧保存...」ダイアログが表示されます。

2 ファイル名と保存場所を指定し、［保存］ボタンをクリックする

撮影情報がCSV形式で保存されます。

サムネイル画像がチェックされているときは、チェックされた画像の情報のみ保存されます。他のフォルダの画像でもチェックされている画像はすべて対象となります。ただし、サムネイル画像が選択状態になっているときは、選択画像の情報のみ保存されます。

スライドショウで連続再生する

スライドショウ表示の設定と操作方法を説明します。

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウで画像またはフォルダを選択する

2 「表示」メニューから「スライドショウ」を選択するか、またはツールバーの ボタンをクリックする

スライドショウ画面とスライドショウのコントロールパネルが開きます。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	［先頭の画像］	先頭の画像に戻ります。スライドショウの実行中に押すと、先頭の画像を表示した後、一時停止状態になります。
2	［巻き戻し］	巻き戻しを行います。スライドショウ実行中に押すと、次の画像を表示した後、一時停止状態になります。
3	［前の画像］	後から前の順で再生を行います。
4	［一時停止］	一時停止します。
5	［再生］	スライドショウを開始します。
6	［早送り］	早送りを行います。スライドショウ実行中に早送りをすると、次の画像を表示した後、一時停止状態になります。
7	［最後の画像］	最後の画像を表示します。スライドショウ実行中でも操作できます。最後の画像を表示した後、一時停止状態になります。
8	［停止］	スライドショウを終了します。

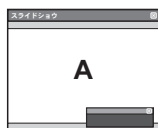
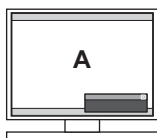
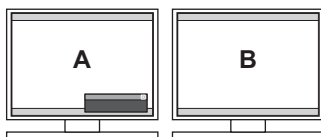
3 再生ボタンを押す

スライドショウが始まります。

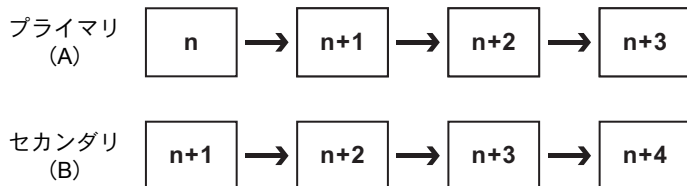
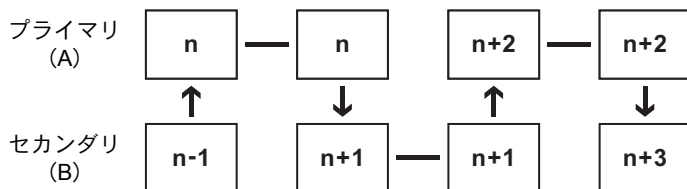
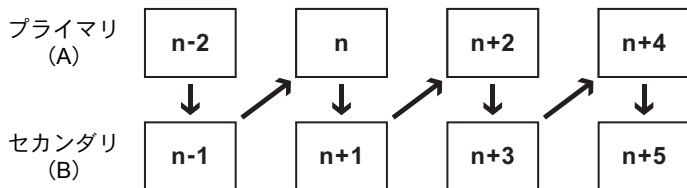
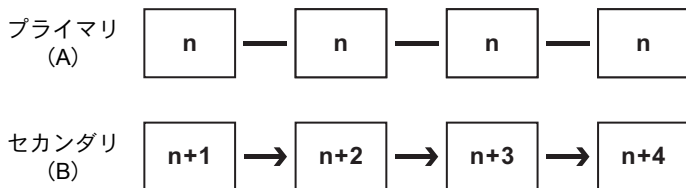
スライドショウの表示設定

スライドショウでは、1つのウィンドウに表示するシングルウィンドウと、2つのウィンドウに表示するデュアルウィンドウを選択することができます。また、シングル全画面表示およびデュアル全画面表示（パソコンが2画面表示に対応している場合のみ）を行うことができます。

スライドショウの表示設定は、「オプション」ダイアログの「スライドショウ」タブで行います。またスライドショウのコマ送りの順番は、「オプション」ダイアログの「コマ送り」タブの「画像表示順序」の設定にしたがいます。（p.65）

スライドショウには、以下の4つの表示パターンがあります。

● デュアルを選択したときの画像の表示順

PENTAX PHOTO Browser 2.1のスライドショウでは、スライドショウのパターンでデュアルウィンドウまたはデュアル全画面を選択した場合は、プライマリ画面とセカンダリ画面に表示される画像の表示方法を選択できます。

順送り

交互送り

2枚送り

プライマリ固定

画像を印刷する

画像ファイルの印刷には、インデックス印刷とフォト印刷の2種類があります。

インデックス印刷	画像のサムネイルと撮影情報を印刷します。
フォト印刷	画像を高画質に印刷します。1枚の用紙に複数の画像を印刷したり、複数の用紙に分割印刷して大きく印刷したりできます。

インデックス印刷をする

1 **PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのサムネイルペインで印刷する画像を選択する**

2 **「ファイル」メニューの「印刷...」を選択する**
または、ツールバーで ボタンをクリックする

「印刷...」ダイアログが表示されます。

3 「インデックス印刷」タブを選択する

4 レイアウトとキャプションを設定する

項目	説明
プレビュー	設定した条件でのプレビューを表示します。
レイアウト	レイアウトのパターンを、3種類から選択します。
1ページ当たりの画像枚数	リストから1ページに印刷する画像の枚数を指定します。
キャプション	キャプション設定を行います。どのレイアウトを選択するかによって、表示される内容が異なります。
位置	画像に対するキャプションの位置をリストから選択します。
内容	印刷指定可能情報をリストから指定します。
フォント	フォントをリストから選択します。初期設定はシステム標準フォントです。
サイズ	フォントサイズをリストから選択します。
プリンタ	使用するプリンター名称が表示されます。

- 画像サイズは、余白、枚数、キャプション領域の設定によって自動的に計算されます。
- ［ページ設定］ボタンをクリックすると、用紙の設定ができます。（p.57）
- ［プリンタの設定］ボタンをクリックすると、プリンターの設定ができます。（p.58）

5 ［OK］ボタンをクリックする

印刷が始まります。

フォト印刷をする

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのサムネイルペインで印刷する画像を選択する

2 「ファイル」メニューの「印刷...」を選択する または は、ツールバーでボタンをクリックする

「印刷...」ダイアログが表示されます。

3 「フォト印刷」タブを選択する

4 レイアウトとキャプションを設定する

項目	説明
プレビュー	設定した条件でのプレビューを表示します。
レイアウト	レイアウトのパターンを、3種類から選択します。 レイアウト1 ：通常印刷 （プリンターによっては縁なし印刷） レイアウト2 ：割付印刷 レイアウト3 ：分割印刷 （1枚の画像を複数の用紙で印刷）
1ページの枚数	1ページに印刷する画像の枚数をリストから選択します。
分割数	1ページを分割する数をリストから選択します。
画像の割付方法	印刷領域と画像のサイズが違う場合の処置をリストから選択します。 トリミング無し：画像が印刷領域からはみ出さないようにします。 トリミング　：はみ出た部分を切り捨てて、印刷領域を一杯に使用します。

項目	説明
位置	印刷領域に対する画像の位置をリストから選択します。
縦の間隔／横の間隔	縦と横の間隔をmmで設定します。
画像の長辺を印刷領域の長辺に合わせる	印刷領域を有効に利用するため設定です。チェックマークを付けると、領域の形に合わせて画像を必要に応じて90度回転して印刷します。
撮影日時印刷	撮影日時の印刷の設定を行います。 位置　　：撮影日時を印刷する位置を指定します。 フォント：リストから選択します。初期設定はシステム標準フォントです。 時刻印刷：時刻を印刷しない（初期設定）か印刷する（HH:MM:SS形式24時制のみ）かを設定します。 区切り　：区切り文字を設定します。 形式　　：日付の表示形式を設定します。 文字色　：文字色を指定します。 サイズ　：フォントサイズをリストから選択します。
プリンタ	使用するプリンター名称が表示されます。

- 画像サイズは、余白、間隔、枚数の設定によって自動的に計算されます。
- 日時の印刷の向きは画像データに合わせて調整されます。（Windows版のみ対応）また、印刷位置は画像データに対する相対位置となります。
- ［ページ設定］ボタンをクリックすると、用紙の設定ができます。（p.57）
- ［プリンタの設定］ボタンをクリックすると、プリンターの設定ができます。（p.58）

5 ［OK］ボタンをクリックする

印刷が始まります。

ページ設定をする

印刷時の用紙の余白やヘッダ／フッタの設定、印刷部数などを設定します。

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウで「ファイル」メニューの「ページ設定...」を選択するか「印刷...」ダイアログで「ページ設定...」ボタンを押す

「ページ設定...」ダイアログが表示されます。

2 各項目を設定する

項目		説明
余白	左右上下	初期設定は25mmです。
	ヘッダ／フッタ	初期設定は紙の端からそれぞれ15mmです。
印刷部数		印刷する部数を指定します。
ヘッダ／フッタ	文字列	ヘッダ／フッタに印刷したい文字列を入力します。
	[ページ番号挿入]	クリックすると、文字列欄のカーソル位置に「#ページ番号」が入ります。
	[ページ数挿入]	クリックすると、文字列欄のカーソル位置に「#ページ数」が入ります。

項目		説明
	配置	ヘッダ／フッタの配置を設定します。印刷しない（初期設定）、左寄せ、中央寄せ、右寄せを指定できます。
	フォント	フォントをリストから選択します。初期設定はシステム標準フォントです。
	サイズ	フォントサイズをリストから選択します。初期設定は10ポイントです。

3 ［OK］ボタンをクリックする

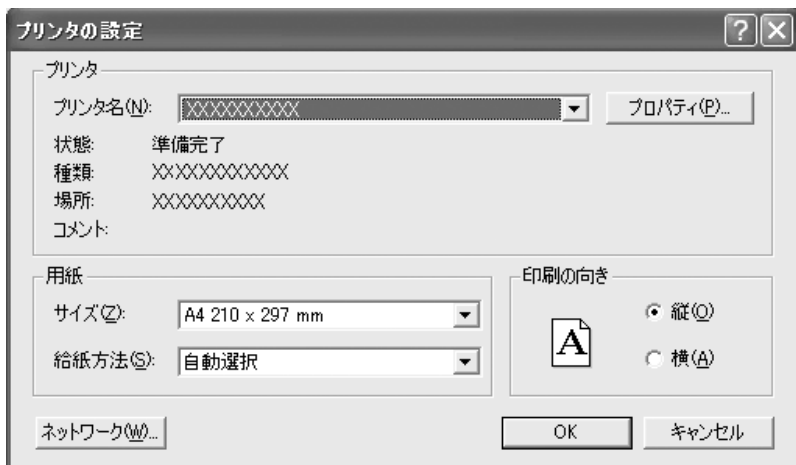
ページ情報が設定されます。

プリンターの設定をする

プリンターの設定を確認し、必要に応じて設定を行います。
プリンターの詳細設定については、ご使用のプリンターの使用説明書をご覧ください。

ここではWindows版のプリンター設定について説明しています。Macintosh版では、OSに従ったプリンター設定画面が表示されます。

1 「印刷...」ダイアログまたは「ページ設定...」ダイアログで［プリンタの設定］ボタンをクリックする

「プリンタの設定」ダイアログが表示されます。

2 各項目を設定する

項目		説明
プリンタ		使用するプリンターを「プリンタ名」のリストから選択します。 ［ネットワーク］ボタンをクリックすると、ネットワーク上のプリンターを選択できます。 ［プロパティ］ボタンをクリックすると、プリンターの詳細設定ができます。
用紙	サイズ	用紙サイズを選択します。
	給紙方法	給紙方法を選択します。
印刷の向き		印刷の方向を設定します。「縦」または「横」を選択します。

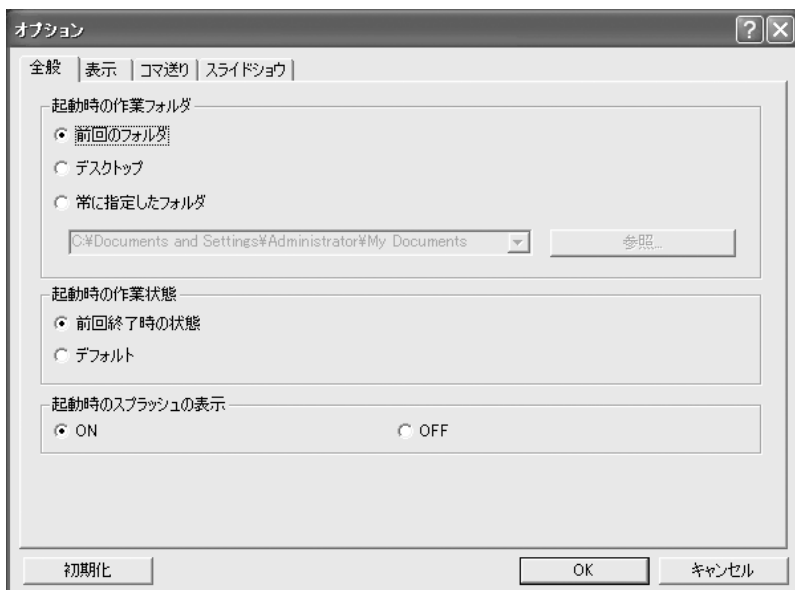
3 ［OK］ボタンをクリックする

プリンター情報が設定されます。

PENTAX PHOTO Browser 2.1の設定を変更する

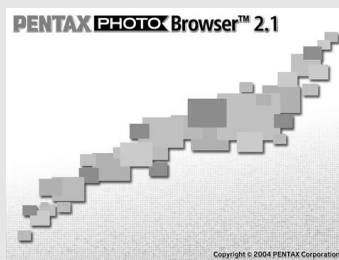
PENTAX PHOTO Browser 2.1起動時の設定、画像表示サイズの初期値、サムネイルキャプションの表示、RAWファイルの表示形式などPENTAX PHOTO Browser 2.1に関する設定を行います。

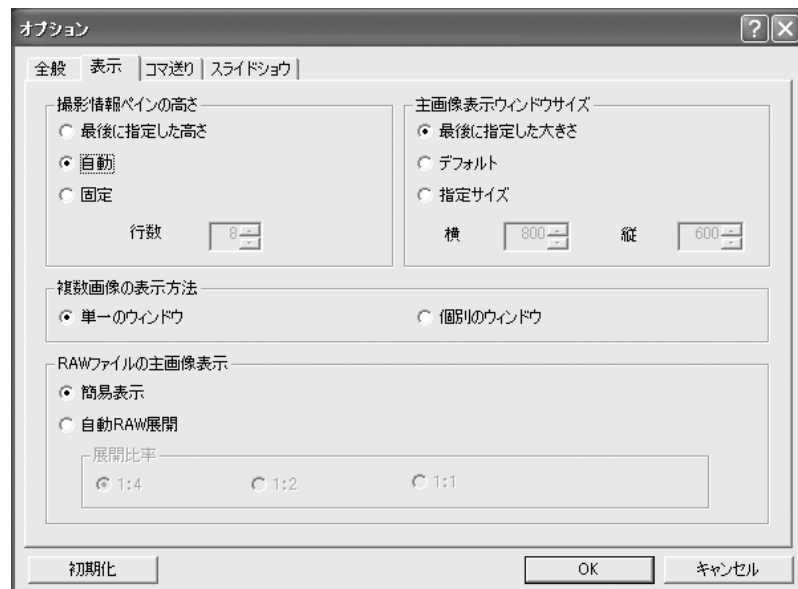
1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウで「ツール」メニューから「オプション...」を選択する または、ツールバーから ボタンをクリックする

「オプション」ダイアログが表示されます。

「全般」タブの設定

「全般」タブでは、PENTAX PHOTO Browser 2.1の起動時の設定を行います。

項目	説明
起動時の作業フォルダ	起動時に開くフォルダを下記から選択します。 前回のフォルダ：前回 PENTAX PHOTO Browser 2.1を終了時に開いていたフォルダを開きます。 デスクトップ　：デスクトップを開きます。 常に指定したフォルダ： [参照...]ボタンをクリックしてフォルダを指定します。
起動時の作業状態	起動時のPENTAX PHOTO Browser 2.1の状態を設定します。 前回終了時の状態： PENTAX PHOTO Browser 2.1を起動したときに、前回終了した際の画面の状態を再現します。 デフォルト：標準の画面が表示されます。
起動時のスプラッシュの表示	PENTAX PHOTO Browser 2.1の起動時にスプラッシュ画面を表示するかどうかを設定します。 ON　：スプラッシュ画面を表示します。 OFF：スプラッシュ画面を表示しません。

スプラッシュ画面とは、PENTAX PHOTO Browser 2.1の起動時に表示されるタイトル画像のことです。

「表示」タブの設定

「表示」タブでは、主画像表示ウィンドウの表示に関する設定を行います。

項目	説明
撮影情報ペインの高さ	主画像表示ウィンドウを開いたときに表示される「撮影情報ペイン」の高さを設定します。 最後に指定した高さ： 主画像表示ウィンドウを開いたときに、前回の「撮影情報ペイン」の高さを再現します。 自動 ：自動的に高さが調整されます。 固定 ：行数を指定することができるようになります。
主画像表示ウィンドウサイズ	主画像表示ウィンドウを開く際のウィンドウサイズを設定します。 最後に指定した大きさ： 直前に指定した大きさのウィンドウサイズで主画像表示ウィンドウを開きます。 デフォルト：標準の大きさでウィンドウを開きます。 指定サイズ：主画像表示ウィンドウの縦横のサイズをピクセル数で指定します。

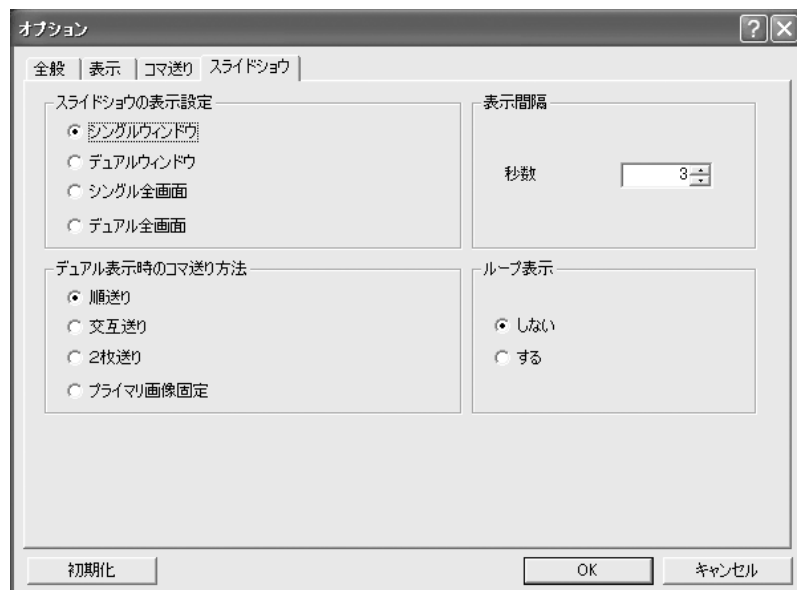
項目	説明
複数画像の表示方法	サムネイルペインで複数の画像を選択した場合に、主画像表示ウィンドウに表示する方法を選択します。 単一のウィンドウ: ひとつの主画像表示ウィンドウに画像が表示されます。主画像表示ウィンドウのツールバーで◀ ▶アイコンをクリックすると、画像の表示を切り替えることができます。 個別のウィンドウ: 複数の主画像表示ウィンドウにそれぞれの画像が表示されます。
RAWファイルの主画像表示	RAW画像ファイルを開く際の表示方法を設定します。 簡易表示　：RAW 画像ファイルに埋め込まれた圧縮画像データを表示します。高速に表示できますが、圧縮率が高めになっているので画質が低く、細部の確認には向いていません。 自動RAW展開　：RAWデータを実際に展開します。（フルオートモード） 展開比率　：自動 RAW 展開を行う際の展開比率を「1：4」、「1：2」、「1：1」から選択します。速度を重視する場合は「1：4」、画質を重視する場合は「1：1」を選択します。

「コマ送り」タブの設定

「コマ送り」タブでは、主画像表示のコマ送りに関する設定を行います。

項目	説明
維持する表示属性	コマ送りする際に維持したい表示属性を選択します。 あてはまるものを複数選択できます。 表示倍率：表示倍率を維持します。 表示位置：表示位置を維持します。 表示方向：表示方向を維持します。
画像表示順序	コマ送りする際の順序を決める要素を選択します。 スライドショウも同じ順序で再生されます。 以下のいずれかを選択します。 ファイル名　：ファイル名の順でコマ送りします。 撮影日時　　：撮影した日時の順でコマ送りします。 ファイル日時：ファイルの日時の順でコマ送りします。

「スライドショウ」タブの設定

「スライドショウ」タブでは、スライドショウに関する設定を行います。（p.49）

項目	説明
スライドショウの表示設定	スライドショウを表示するためのパターンを設定します。 シングルウィンドウ： 1つのウィンドウで表示します。 デュアルウィンドウ： 2つのウィンドウ（プライマリとセカンダリ）で表示します。 シングル全画面： 1つのモニタで全画面表示します。 デュアル全画面： 2つのモニタで全画面表示します。
表示間隔	スライドショウのコマ送り間隔を設定します。 秒数：コマ送り間隔の秒数を指定します。

項目	説明
デュアル表示時のコマ送り方法	2枚の画像を同時に表示する場合に、画像を更新する方法について設定を行います。（p.51） 順送り　：順番にコマ送りされます。セカンダリにはプライマリより1つ先の画像が表示されます。 交互送り：コマ送り間隔ごとに、プライマリとセカンダリを交互に使って表示します。開始画像を0番目とすると、プライマリには偶数番目、セカンダリには奇数番目の画像が表示されます。 2枚送り：2枚単位でコマ送りされます。 プライマリ画像固定： プライマリには固定の画像が、セカンダリには順番通りに画像が表示されます。
ループ表示	繰り返し表示するかどうかを選択します。 しない　：画像の表示が一巡したら、スライドショウを終了します。 する　　：画像の表示が一巡した後も、■ボタンで停止するまでスライドショウを繰り返します。

2 各項目を選択し、［OK］ボタンをクリックする

オプションが設定され、「オプション」ダイアログが閉じます。
［初期化］ボタンをクリックすると、すべてのオプションが、インストール時の状態に戻ります。

［初期化］ボタンをクリックすると、現在開いているタブだけではなく、すべてのタブの設定が初期化されることに注意してください。

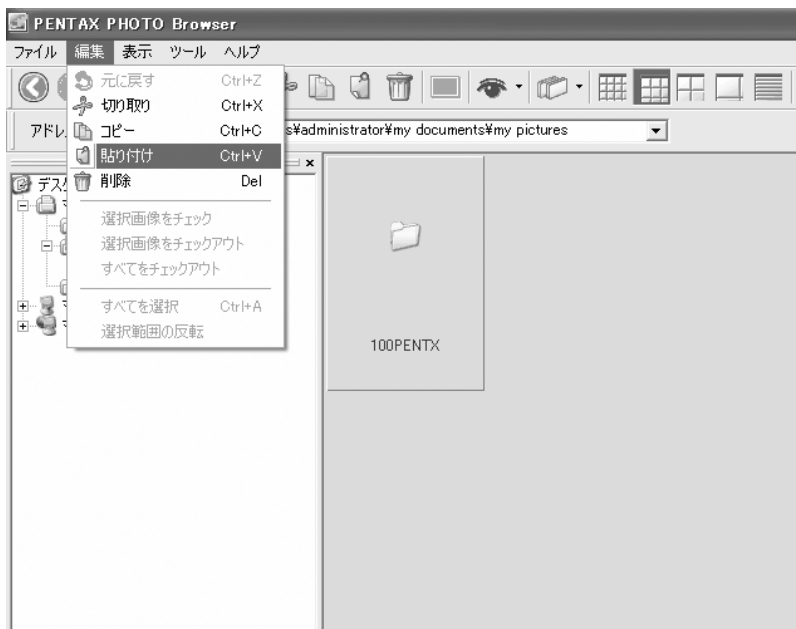
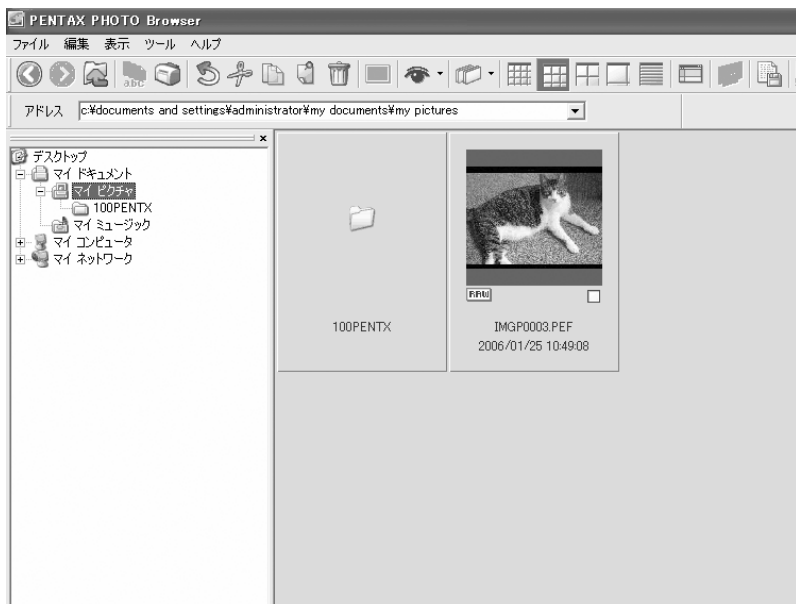
画像ファイル／フォルダを管理する

画像ファイルを移動／コピーする

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのサムネイルペインで、移動またはコピーするサムネイル画像を選択する

2 「編集」メニューの「切り取り」／「コピー」を選択する
または、ツールバーから ／ ボタンをクリックする

3 フォルダツリーペインで移動先／コピー先のフォルダを指定する

4 「編集」メニューの「貼り付け」を選択する または、ツールバーから ボタンをクリックする

画像ファイルが指定したフォルダに移動またはコピーされます。

- サムネイル画像を移動先のフォルダにドラッグ＆ドロップしても移動することができます。
  コピーする場合は、Ctrlキーを押しながらドラッグ&ドロップします。（Macintosh版では、Optionキーを押しながらドラッグ&ドロップします。）
- 同様の操作でフォルダを移動またはコピーすることができます。フォルダツリーペインで移動またはコピーするフォルダを指定します。移動先またはコピー先のフォルダ内に指定したフォルダが移動またはコピーされます。

画像ファイル／フォルダを削除する

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのサムネイルペインで削除するサムネイル画像を選択する または、フォルダツリーペインで削除するフォルダを選択する

2 「編集」メニューの「削除」を選択する または、ツールバーから🗑ボタンをクリックする

削除を確認する画面が表示されます。

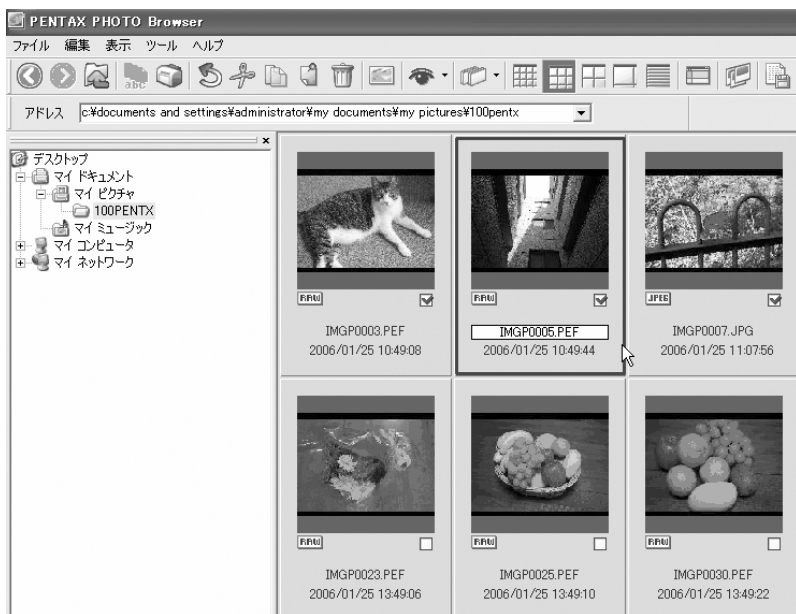
3 ［はい］ボタンをクリックする

画像ファイルまたはフォルダが削除されます。

画像ファイル／フォルダの名称を変更する

1 **PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのサムネイルペインで名称を変更するサムネイル画像を選択する
または、フォルダツリーペインで名称を変更するフォルダを選択する**

2 **「ファイル」メニューの「名前の変更」を選択する
または、サムネイルペイン／フォルダツリーペインでファイル名／フォルダ名を直接クリックする**

ファイル名またはフォルダ名が入力可能な状態になります。

3 **ファイル名またはフォルダ名を入力する**

画像ファイル名またはフォルダ名が変更されます。

ファイル名を一括変換する

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのサムネイルペインで名称を変更するサムネイル画像を複数選択またはチェックする

「編集」メニューの「すべてを選択」を選択すると、サムネイルペインのすべての画像が選択されます。フォルダをまたがっての画像の選択はできません。

2 「ファイル」メニューの「名前の一括変更...」を選択するまたはツールバーから ボタンをクリックする

「名前の一括変更...」ダイアログが表示されます。

3 内容を確認し、必要に応じて入力する

項目	説明
ベースファイル名	ファイル名に付ける名前を指定します。標準で付けられるファイル名は、"IMGP"になります。
連番桁数	ファイル名に付けられる数字の桁を指定します。指定できるのは、1～5までになります。初期設定では、4が指定されます（例：IMGP1234.pef)。対象となるフォルダに指定のベースファイル名を持つファイルがある場合、ファイル名に付けられている最大の番号に変更対象となるファイルの総数を足した数字の桁数が最小の連番桁数として自動的に設定されます。
ベースファイル名を後にする	このチェックボックスにチェックマークを入れると、「ベースファイル名」で指定したファイル名がファイルの後に付けられます（例：0123IMGP.pef)。標準ではベースファイル名は先頭に付けられるようになっています。

項目	説明
開始番号	開始番号を指定します。対象となるフォルダに指定したのと同じベースファイル名を持つファイルがある場合、自動的に最大番号の次の番号が最小開始番号として設定されます。指定のベースファイル名を持つファイルがない場合は、1が設定されます。

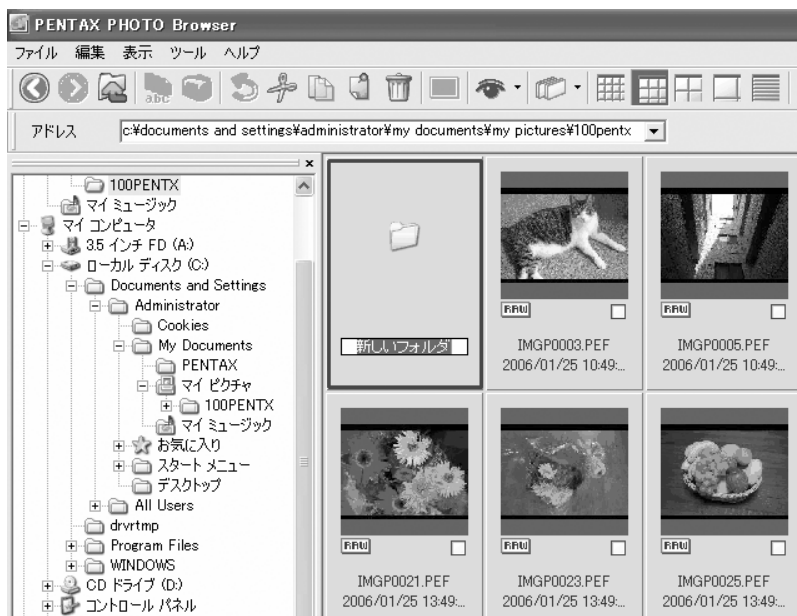
4 ［OK］ボタンをクリックする

指定した名前に一括変換されます。

フォルダを新規作成する

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのフォルダツリーペインでフォルダを作成するフォルダを選択するまたはサムネイルペインを選択する

2 「ファイル」メニューの「フォルダの新規作成」を選択する

指定したフォルダの下、またはサムネイルペインに「新しいフォルダ」が作成されます。

画像ファイル／フォルダのプロパティを表示する（Windows版）

プロパティダイアログは、ご使用のWindowsのバージョンによって表示される項目や内容が異なります。プロパティダイアログの設定については、Windowsのヘルプをご覧ください。

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのサムネイルペインでプロパティを表示するサムネイル画像を選択する または、フォルダツリーペインでプロパティを表示するフォルダを選択する

2 「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択する

「XXXのプロパティ」ダイアログが表示されます。

3 内容を確認する

4 ［OK］ボタンをクリックする

プロパティダイアログが閉じられます。

画像ファイル／フォルダのプロパティを表示する（Macintosh版）

Macintoshの標準の情報ダイアログが表示されます。情報ダイアログの設定については、Macintoshのヘルプをご覧ください。

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウのサムネイルペインでプロパティを表示するサムネイル画像を選択する または、フォルダツリーペインでプロパティを表示するフォルダを選択する

2 「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択する

「XXXの情報」ダイアログが表示されます。

3 内容を確認する

4 ⊗ボタンをクリックする

情報ダイアログが閉じられます。

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1はPENTAXデジタルカメラ専用フォーマットで記録されたCCD RAW画像データに対して色分解処理などの展開処理を行うソフトウェアです。RAWデータは、この展開処理を行うことではじめて市販の画像閲覧・編集ソフトウェアで表示できるようになります。

ここでは、PENTAX PHOTO Laboratory 2.1の起動方法と終了方法、PENTAX PHOTO Laboratory 2.1ウィンドウの見方とその機能について説明します。

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1を起動する

Windowsの場合

1 **デスクトップ画面でスタートメニューを選択する**

2 **プログラムメニューから「PENTAX Digital Camera Utility」の中の「PENTAX PHOTO Laboratory」を選択する**

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1が起動し、PENTAX PHOTO Laboratory 2.1ウィンドウが表示されます。

● **PENTAX PHOTO Laboratory 2.1を終了するには**

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1ウィンドウの「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

「PENTAX PHOTO Laboratory 2.1」は「PENTAX PHOTO Browser 2.1」からも起動することができます。（p.29）

Macintoshの場合

1 **ハードディスク上の「PENTAX Digital Camera Utility」の中の「PENTAX PHOTO Laboratory」フォルダをダブルクリックする**

2 **「PENTAX PHOTO Laboratory」のプログラムアイコンをダブルクリックする**

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1が起動し、PENTAX PHOTO Laboratory 2.1ウィンドウが表示されます。

● **PENTAX PHOTO Laboratory 2.1を終了するには**

デスクトップ上部のメニューバーで、「PENTAX PHOTO Laboratory」メニューの「PENTAX PHOTO Laboratoryの終了」を選択します。

「PENTAX PHOTO Laboratory 2.1」は「PENTAX PHOTO Browser 2.1」からも起動することができます。（p.29）

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1ウィンドウについて

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1ウィンドウの構成、名称、機能について説明します。
PENTAX PHOTO Laboratory 2.1は5枚のパネルで構成されています。
パネルは独立したウィンドウなので、それぞれ画面上の任意の場所に配置することができます。「表示」メニューの「ウィンドウの整列」で並べ直すこともできます。
またメインパネル以外の4つのパネルは、表示非表示を設定できます。

注意

- 処理モードとして（フルオートモード）を選択している場合は、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他パラメタパネルは表示されません。（p.82）
- RAW画像データが選択されていない場合、プレビュー画像は表示されません。（p.83）

● メインパネル

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1の機能の実行や各種設定を行います。
Macintosh版ではツールバーのみのパネルになります。メニューはデスクトップ上部に表示されます。

● プレビューパネル

選択したRAW画像を4段階で表示したり、部分拡大したり、それぞれのパネルで行った調整を確認したりできます。
調整の結果の表示は、リアルタイム表示と、更新ボタンによる表示のどちらかを選択できます。

● ホワイトバランスパネル

ホワイトバランスの選択や色温度の設定を行います。画像の色調が偏っている（例えば、全体的に黄色っぽい、または青っぽい）場合、ここで調整することができます。（p.88）

● トーンパネル

表示されている画像のトーンカーブ、ヒストグラム情報を表示します。（p.89）
トーンカーブを調整することで、画像の階調を調整することができます。

● その他のパラメタパネル

感度、明暗、色の濃さ、画像輪郭の強調などを調整することができます。（p.90）

● メニューバー

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1の機能の実行や各種設定を行います。

「ファイル」メニュー	
開く	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1で展開処理を行う画像ファイルを選択します。単独で起動したときのみ有効です。PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウでPENTAX PHOTO Laboratory 2.1を起動した場合は、使用できません。（p.84）
保存	RAW画像の展開処理を行い、指定した形式で保存します。指定可能な保存形式はJPEG 5種、TIFF-8、TIFF-16です。保存形式は「ツール」メニューの「保存モード」で指定します。（p.91）
調整値呼び出し...	以前に保存したパラメタ設定ファイルを読み込み、各パネルに設定します。（p.93）
調整値保存	現在の各パネルの設定をパラメタ設定ファイルに保存します。（p.93）

「ファイル」メニュー	
終了	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1を終了します。（Macintosh版では、「PENTAX PHOTO Laboratory」メニューの「PENTAX PHOTO Laboratoryの終了」を選択します。）

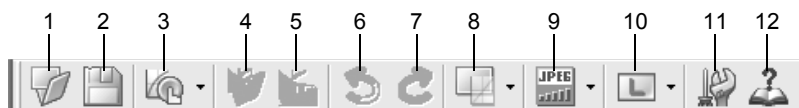
「表示」メニュー	
フルオートモード	各RAWファイルに設定された条件で展開します。プレビューパネル以外は非表示となります。（p.86）
カスタムモード	ユーザーが設定した処理条件で展開処理を行います。処理条件は、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメタパネルで設定します。（p.87）
先頭の画像	複数の画像が登録されている場合、登録順位が最上位の画像をプレビューします。
前の画像	複数の画像が登録されている場合、登録順位が1つ上位の画像をプレビューします。
次の画像	複数の画像が登録されている場合、登録順位が1つ下位の画像をプレビューします。
最後の画像	複数の画像が登録されている場合、登録順位が最下位の画像をプレビューします。
プレビューの更新	リアルタイムプレビューが無効のとき、現在の設定でプレビューを更新します。
表示画像サイズ	プレビューに用いる画像データのサイズを指定します。
プレビュー	プレビューパネルの表示／非表示を切り替えます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスパネルの表示／非表示を切り替えます。
トーン	トーンパネルの表示／非表示を切り替えます。
その他のパラメタ	その他のパラメタパネルの表示／非表示を切り替えます。
ウィンドウの整列	表示中の各パネルを整列します。

「ツール」メニュー	
元に戻す	カスタムモードのとき、変更したパラメタを直前の状態に戻します。最大5ステップまで戻れます。
やり直し	カスタムモードのとき、「元に戻す」で戻した変更をもう1度実行します。

「ツール」メニュー	
画質モード	絵作りのタイプを選択します。フルオート設定の場合、各ファイルの設定で処理されます。カスタムモードの場合、選択した処理モードですべての画像を処理します。RAWファイルのタイプによっては設定できないモードがあります。
保存モード	展開後の画像の保存品質を設定します。圧縮度によって5種類のJPEG形式と、ビット数によって2種類のTIFF形式で保存できます。初期設定は、JPEG（最高画質）です。
保存サイズ	展開後の画像の保存画素数を設定します。（p.91）
オプション...	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1の各種設定を行います。（p.94）

「ヘルプ」メニュー	
目次	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1 ヘルプの目次を表示します。
キーワード	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1 ヘルプのキーワード検索を表示します。（Macintosh版ではこのコマンドはありません。）
ポップアップヒント	ポップアップヒントモードに入ります。
バージョン情報	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1のバージョン情報を表示します。（Macintosh版では「PENTAX PHOTO Laboratory」メニューの「PENTAX PHOTO Laboratoryについて」を選択します。）

ツールバー

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1の機能の実行や各種設定を行います。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	［開く］	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1で展開処理を行う画像ファイルを選択します。単独で起動したときのみ有効です。PENTAX PHOTO Browser 2.1ウィンドウでPENTAX PHOTO Laboratory 2.1を起動した場合は、使用できません。（p.84）

番号	アイコン（ボタン）	内容
2	［保存］	RAW画像の展開処理を行い、指定した保存モードと画像サイズで保存します。（p.91）
3	［フルオートモード］	フルオートモードに設定されている場合に表示されます。RAWファイルに設定された処理条件で展開処理を行います。 をクリックするとプルダウンメニューが表示され、と を切り替えられます。
	［カスタムモード］	カスタムモードに設定されているときに表示されます。ユーザーが設定した処理条件で展開処理を行います。処理条件は、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメタパネルで設定します。（p.87）
4	［調整値呼び出し...］	カスタムモードのとき、保存した設定値ファイルを呼び出します。（p.93）
5	［調整値保存］	カスタムモードで設定した処理条件を調整値ファイルとして保存します。（p.93）
6	［元に戻す］	カスタムモードのとき、変更したパラメタを直前の状態に戻します。最大5ステップまで戻れます。
7	［やり直し］	カスタムモードのとき、［元に戻す］で戻した変更をもう1度実行します。
8	［画質モード］	現在の画質モードが表示されます。フルオート設定の場合、各ファイルの設定で処理されます。カスタムモードの場合、をクリックすると、画質モードが選択できます。選択した処理モードですべての画像を処理します。RAWファイルのタイプによっては設定できないモードがあります。（p.86）
9	［保存モード］	現在の保存モードが表示されます。をクリックすると、展開処理をした画像ファイルの保存形式を選択できます。（p.91）
10	［保存サイズ］	現在の画像サイズが表示されます。をクリックすると、展開処理をした画像ファイルの保存サイズを選択できます。（p.91）
11	［オプション...］	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1の設定を変更します。（p.94）

番号	アイコン（ボタン）	内容
12	[ヘルプ（目次）]	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1 ヘルプの目次を表示します。

プレビューパネル

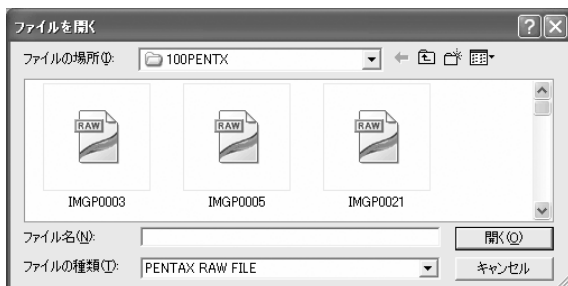
RAWファイルをプレビュー表示します。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	[表示画像サイズ]	▼をクリックして、プルダウンからプレビューに用いる画像データのサイズを指定します。Small、Medium、Large、Full Size が選択できます。
2	[部分拡大表示]	表示をオンにすると、プレビューエリア上に赤く範囲枠が表示されます。部分拡大表示ウィンドウが表示され、倍率が選べます。
3	[更新]	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1のオプション設定で「プレビュー表示の更新」が「更新ボタン」となっている場合、このボタンを押すと現在の設定でプレビューを更新します。
4	002IMGP.pef	複数の画像が登録されている場合、リストから表示する画像を選択します。
5	[先頭]	複数の画像が登録されている場合、登録順位が最上位の画像をプレビューします。

番号	アイコン（ボタン）	内容
6	［戻る］	複数の画像が登録されている場合、登録順位が1つ上位の画像をプレビューします。
7	［進む］	複数の画像が登録されている場合、登録順位が1つ下の画像をプレビューします。
8	［最後尾］	複数の画像が登録されている場合、登録順位が最下位の画像をプレビューします。

画像を表示する

1　PENTAX PHOTO Laboratory 2.1ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックする

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

2　表示するRAW画像ファイルのファイル名を指定し、［開く］ボタンをクリックする

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1のプレビューパネルにRAW画像が表示されます。

複数の画像を選択しておくと、一度に複数の画像ファイルを読み込むことができます。

その場合は、ツールボタンの⏮、◀、▶、⏭ボタンをクリックして目的の画像をプレビュー表示します。

- PENTAX PHOTO Browser 2.1からPENTAX PHOTO Laboratory 2.1を起動する場合は、PENTAX PHOTO Browser 2.1でRAW画像ファイルを選択してからPENTAX PHOTO Laboratory 2.1を起動します。先にPENTAX PHOTO Laboratory 2.1を起動した後で、PENTAX PHOTO Browser 2.1にてRAW画像ファイルを選択することもできます。
- PENTAX PHOTO Browser 2.1で複数の画像ファイルを選択するには、チェックボックスをチェックするか、Ctrlキーを押しながら選択したサムネイル画像を左クリックします。（Macintosh版では、Commandキーを押しながらクリックすると、複数選択できます。）なお、チェックボックスによるファイル指定は、PENTAX PHOTO Laboratory 2.1を起動する前にチェックされていて選択状態（青い枠で囲まれた状態）になっているファイルがない場合に有効です。

PENTAX PHOTO Browser 2.1から起動するには

1 PENTAX PHOTO Browser 2.1でRAW画像ファイルを選択する

2 PENTAX PHOTO Browser 2.1の「ツール」メニューの「PENTAX PHOTO Laboratory」を選択するか、ボタンをクリックする

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1のプレビューパネルにRAW画像が表示されます。

RAW画像を簡単に絵作りする

画質モードを選ぶことで、撮影条件に適した展開処理が簡単にできます。フルオートモードのときは、撮影時に選択した画質モードで展開されます。PENTAX PHOTO Laboratory 2.1で設定の変更はできません。
カスタムモード時には、画質モードを選択できます。選択すると、すべてのコマが同じ画質モードで処理されます。

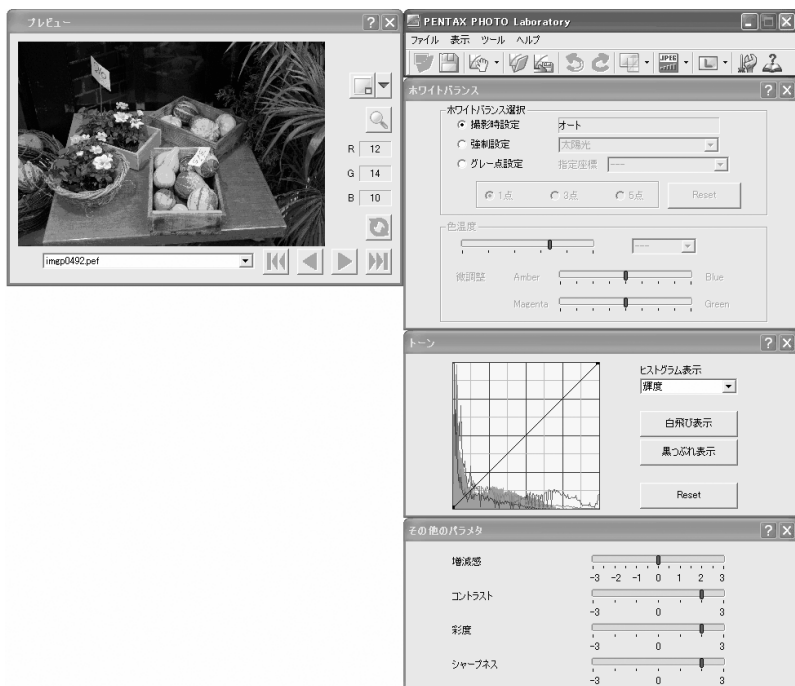
*istDL2では、次の 7 種類が選択できます。

	ナチュラル	自然な色合いに仕上げます。
	鮮やか	メリハリのある鮮やかな画像に仕上げます。
	ピクチャー：人物	人物肌色を美しく仕上げます。
	ピクチャー：風景	木々の緑や青空などの輪郭・彩度を強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。
	ピクチャー：マクロ	近くにある花などを鮮やかに撮影できます。
	ピクチャー：動体	スポーツなど動きのある被写体をきれいに仕上げます。
	ピクチャー：夜景人物	夕暮れや夜景を背景とした人物撮影に適しています。

RAW画像の展開処理条件を設定する

処理条件を1つ1つ設定して、個性的な絵作りができます。

1 「表示」メニューで「カスタムモード」を選択するか、ツールバーの ボタンの をクリックし、表示されるドロップダウンリストの カスタムモードをクリックする

メインパネル、プレビューパネル、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメタパネルが表示されます。

- 「表示」メニューで「フルオートモード」を選ぶか、ツールバーの ボタンの をクリックし、表示されるドロップダウンリストの フルオートモードを選択すると、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメタパネルが閉じます。撮影時に設定した画質モードで展開され、PENTAX PHOTO Laboratory 2.1で設定の変更はできません。
- 画像を複数選択している場合は、選択画像すべてに同じ処理条件が設定されます。画像ごとに処理条件を変えて、後で一括処理がしたい場合には、「キューリスト」を利用してください。（p.93、p.96）

2 各設定パネルで設定する

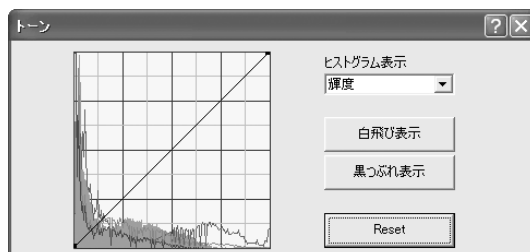
設定した内容がプレビュー画面に反映されます。反映方法は、オプションの設定によって2種類あります。（p.94）

- **設定後リアルタイムですぐに反映する**
- **プレビューパネルの ボタンをクリックすると反映する**

● ホワイトバランスを設定する場合

項目	内容
ホワイトバランス選択	以下の中から選択します。 撮影時指定　：カメラで設定されたホワイトバランス種別を適用します。 強制設定　：適用するホワイトバランスを「太陽光」「日陰」「曇天」「蛍光灯（昼光色）」「蛍光灯（昼白色）」「蛍光灯（白色）」「白熱球」「ストロボ」「色温度指定」から選択します。 グレー点設定　：プレビュー画像上でグレーにしたい点を選んで、ポインタで指定することで最適のホワイトバランスを設定することができます。グレー点の設定は1点、3点、5点から選択できます。撮影時にグレー点設定用のグレーパネルを一緒に撮影すると、より正確なホワイトバランスを設定できます。［Reset］ボタンで選択したグレー点を破棄します。

項目	内容
色温度	「ホワイトバランス選択」の「強制設定」で「色温度指定」を選んだ場合に設定できます。 色温度：バーをスライドして設定するか、リストから色温度を選択します。2500～10000K（ケルビン）の間で設定できます。 微調整：微調整を使うと、Amber（黄）– Blue（青）、Magenta（赤）– Green（緑）のスライドパネルで、撮影時の色のかぶりを補正することができます。微調整分は色温度表示には反映されません。

● トーンカーブ／ヒストグラムを設定する場合

項目	内容
トーンカーブ	トーンカーブを調整することで、濃度やコントラストを細かく調整できます。トーンカーブはポインタで自由に変更できます。上に移動すると明るく、下に移動すると暗くなります。 トーンカーブ上のある位置を固定したい場合は、その地点をクリックすると、黒点が表示されます。黒点をドラッグして移動することもできます。黒点を削除したいときは、右ボタンでクリックします。（Macintosh版では、Ctrlキーを押しながらクリックします。）
ヒストグラム表示	RGB合成時の輝度、R（赤成分）、G（緑成分）、B（青成分）の明度分布を表示します。
［白飛び表示］／ ［黒つぶれ表示］	［白飛び表示］ボタンをクリックすると、プレビューパネルの画像の白飛びの部分を黒く表示します。 ［黒つぶれ表示］ボタンをクリックすると、プレビューパネルの画像の黒つぶれの部分を白く表示します。
［Reset］	設定したトーンカーブを破棄し、直線に戻します。

● **増減感／コントラスト／彩度／シャープネスを設定する場合**

その他のパラメタパネルで設定します。

項目	内容
増減感	展開処理の濃度を変更します。 ＋方向：画像全体が明るくなります。 －方向：画像全体が暗くなります。
コントラスト	明暗の差を調整します。 ＋方向：光と影の強弱が強調されます。 －方向：光と影の強弱が柔らかくなります。
彩度	RAW展開後の色の濃さを調整します。 ＋方向：色が濃くなります。 －方向：色が薄くなります。
シャープネス	エッジの出方を調整します。 ＋方向：画像の輪郭が強調されます。 －方向：画像の輪郭が柔らかくなります。

画像ファイルを保存する

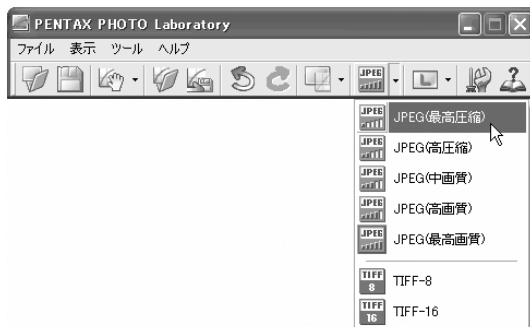
フルオート展開またはカスタム展開した画像ファイルを保存します。保存するとき保存形式と画像サイズを指定します。保存形式は、圧縮率の異なる5種類のJPEG形式、TIFF8形式、TIFF16形式が指定できます。
圧縮率が高くなるほどファイルサイズは小さくなりますが、画質は落ちます。
画像サイズは、L、M、Sの3種類が選べます。

サイズ	ピクセル数
L	3008×2008
M	2400×1600
S	1536×1024

1 「ツール」メニューの「保存モード」を選択するか、脇の▼をクリックして保存形式を選ぶ

RAW画像を展開して保存するときのファイルフォーマットと保存品質を選択します。

JPEGは、画像データを圧縮して保存します。最高圧縮、高圧縮、中画質、高画質、最高画質の5段階から選択できます。画質は多少落ちてもファイル容量を少なくしたい場合は最高圧縮か高圧縮を、ファイル容量は大きくても高画質のまま保存したい場合は高画質、最高画質を選択します。

圧縮による画質の低下を避けたいときは、TIFF-8かTIFF-16を選択します。TIFF-16を選択すると容量は大きくなりますが、他の画像編集ソフトで調整するときに、画質の劣化を少なくすることができます。

2 「ツール」メニューの「保存サイズ」を選択するか、[L]脇の▼をクリックして保存サイズを選ぶ

3 「ファイル」メニューの「保存」を選択するか、ツールバーの[保存]ボタンをクリックする

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

4 ファイル名と保存する場所を指定し、[保存]ボタンをクリックする

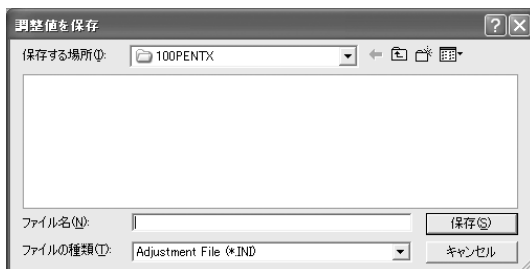
画像ファイルが保存されます。

「オプション」で「キューリストを使用」が指定されているときは、「キューリスト」のダイアログに処理待ちのジョブとして追加されます。(p.96)

画像ファイルの調整値を保存する

現在表示されている調整値の組み合わせをパラメタファイルとして保存できます。保存した調整値を他のRAW画像に適用して展開することができます。

1 メインパネル「ファイル」メニューの「調整値保存」をクリックするか、ボタンをクリックする

「調整値を保存」ダイアログが表示されます。

2 ファイル名と保存する場所を指定し、[保存]ボタンをクリックする

現在表示されている設定が、調整値ファイル(*.INI)として保存されます。

画像ファイルの調整値を呼び出す

1 プレビューパネルにRAW画像ファイルを表示する

2 メインパネル「ファイル」メニューの「調整値呼び出し...」をクリックするか、ボタンをクリックする

「調整値ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

3 フォルダとパラメタファイル名を選び、［開く］ボタンをクリックする

現在表示されているRAW画像が、開いた調整値で展開されます。

PENTAX PHOTO Laboratory 2.1の設定を変更する

1 メインパネル「ツール」メニューの「オプション...」を選択するか、ツールバーのボタンをクリックする

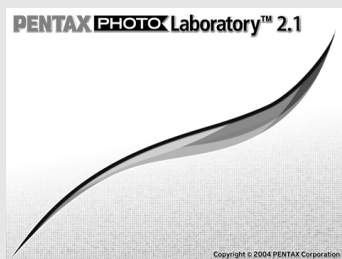
「オプション」ダイアログが表示されます。

2 「全般」タブをクリックする

各項目を必要に応じて設定します。

項目	内容
作業フォルダ	作業フォルダを、2種類から選択します。 元のファイルのあるフォルダ： RAWデータのあるフォルダで作業します。 常に指定したフォルダ： ［参照...］ボタンをクリックすると「フォルダの参照」ダイアログが表示され、フォルダを選択できます。

項目	内容
起動時の作業状態	起動時の作業状態を選択します。 前回終了時の状態： 前回終了時の設定を保持します。モニタの種類や数が前回と異なるために前回の設定を復元できない場合などは、「すべてを整列表示」に切り替わります。 すべてを整列表示： 使用するパネルをすべて整列表示します。表示画像サイズは小（初期設定）、その他の設定は前回終了時の状態で表示します。 デフォルト：すべての状態をインストール時の状態に戻します。
起動時のスプラッシュの表示	PENTAX PHOTO Laboratory 2.1の起動時にスプラッシュ画面を表示するかどうかを設定します。 ON ：スプラッシュ画面を表示します。 OFF ：スプラッシュ画面を表示しません。
パネルの整列	パネルを自動整列設定する場合に、右寄せにするか左寄せにするかを設定します。
プレビュー以外をセカンダリモニタに配置	ONを選択すると、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他パラメタパネルがセカンダリモニタに配置されます。この場合は、パネルの整列オプションは無視されます。

スプラッシュ画面とは、PENTAX PHOTO Laboratory 2.1の起動時に表示されるタイトル画像のことです。

3 「詳細」タブをクリックする

各項目を必要に応じて設定します。

項目	内容
色空間	色の再現領域を設定する色空間を、「sRGB」と「AdobeRGB」の2つから設定できます。 sRGB　：現在もっとも一般的な色空間設定で、多くのパソコン用ディスプレイ、画像処理ソフトウェアに対応しています。 AdobeRGB　：「sRGB」よりも広い色再現領域を持った色空間です。撮影した画像に細かい調整を加えたいときや、商業印刷など、より高品質な仕上がりが求められる場合に設定します。

AdobeRGBに設定して展開した画像をsRGB環境で見ると、sRGBに設定して展開した場合に比べて彩度が低下して見えることがあります。

処理実行方法	設定パネルで設定した展開処理のためのジョブを直ちに実行するか、キューリストに登録して、あとで実行するかを設定します。 直ちに実行： 設定したジョブは直ちに実行されます。処理が済むまで他の操作はできなくなります。 キューリストを使用： 設定したジョブはいったんキューリストに追加されます。それぞれのジョブは処理前、処理中に削除や追加が可能です。

項目	内容
プレビュー表示の更新	リアルタイム　：「カスタムモード」の各設定項目の設定が変更されるたびに処理条件をプレビュー画像に適用するように設定します。 更新ボタン　　：「カスタムモード」の各設定項目の設定を変更した後、［更新］ボタンをクリックして処理条件をプレビュー画像に適用するように設定します。
複数画像処理時の保存方法	複数の画像を処理するときの保存方法を「元のファイル名＋変換後の拡張子」「連番ファイル名」「一枚ずつ確認」から選択します。 連番ファイル名を選択した場合は、ベースファイル名とその後につける数字の桁数を指定します。

4 各項目を設定し、［OK］ボタンをクリックする

オプションが設定され、ダイアログが閉じます。

［初期化］ボタンをクリックすると、すべてのオプションが、インストール時の状態に戻ります。

［初期化］ボタンをクリックすると、現在開いているタブだけではなく、すべてのタブの設定が初期化されることに注意してください。

用語集

AdobeRGB

米アドビシステムズ社が商業印刷原稿作成用に推奨している色空間。sRGBよりも広い色再現域をもち、印刷での色再現域をほぼカバーできるため、パソコン上での画像編集段階において、印刷でしか再現できない色域情報を失うことがない。なお、対応しないソフトで開くと色が薄く見えてしまうので、注意が必要。

CCD RAWデータ

CCD はCharge Coupled Deviceの略。光情報を電気信号に変換する半導体素子。RAW画像データは、このCCDからの生出力を記録した画像データ。パソコンに転送し、付属のソフトウェアを使用することで、JPEGやTIFFなど設定の異なる画像データを作成することが可能。

CSV形式

レコード中の各フィールドを、コンマ（,）で区切って列挙したデータフォーマット形式。一般にCSV形式では、文字列データはダブルクォーテーションでくくることが多い。汎用フォーマットの１つとして、CSV形式でのデータ出力、データ入力機能を備えているソフトウェアもある。

Exif-JPEG形式

Exif はExchangeable Image File Formatの略。JPEG画像のデータ形式をベースに、サムネイル画像や撮影情報などを埋め込むことを可能にした画像ファイル形式。対応していないソフトでは単なるJPEG画像として処理される。

Exif-TIFF形式

Exif はExchangeable Image File Formatの略。TIFF画像のデータ形式をベースに、サムネイル画像や撮影情報などを埋め込むことを可能にした画像ファイル形式。対応していないソフトでは単なるTIFF画像として処理される。

JPEG

静止画像の圧縮方式。圧縮することにより画質がやや劣化するが、同じ画像サイズでも、TIFFなどよりもファイルサイズを小さくすることができる。

PNG形式
圧縮率が高いのでファイルサイズを小さくできるが、可逆圧縮であるためファイルサイズはJPEGよりも大きくなる。フルカラーに対応しており、再編集しても画質が損なわれない特長を持つ。ただし、古いブラウザ（3.0以前のInternet Explorerや Macintosh版の Internet Explorer 4.5）では表示することができない。また、サムネイル画像や、撮影情報は埋め込めない。

sRGB（standard RGB ）
IEC（International Electrotechnical Commission、国際電気標準会議）が定める色空間の国際規格。一般的なパソコン用モニタの標準値から定義された色空間で、Exifの標準色空間としても使用されている。

TIFF8
画像を保存するファイル形式の一つ。1画像をRGB各色8bitのデータで記録している。画像を圧縮せずに保存するため、ファイルサイズは大きくなるが、保存時の画質の劣化はない。

TIFF16
通常TIFF画像は1画像をRGB各色8bitのデータで記録しているが、これを各色16bitにしたもの。ダイナミックレンジが広がるため、画像処理時の演算精度が向上する。

ロスレス回転
JPEGは、不可逆圧縮方式（圧縮時にデータが劣化する）のため一度圧縮した画像を開き、回転し、また保存しただけで画質が低下するが、ロスレス回転は、このような再圧縮処理を行わずJPEGを回転させる方法。Exifなどの情報はすべて保持される。なお、ロスレス回転はファイルからファイルへの処理になるので、回転後の画像はファイル保存後に表示される。

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス　**http://www.pentax.co.jp/**

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター　**ナビダイヤル　0570-001313**
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHSの方は、右記の電話番号をご利用ください。　**☎03-3960-3200（代）**

〒174-8639　東京都板橋区前野町2-36-9

営業時間　午前9：00～午後6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム　**☎03-3348-2941（代）**

〒163-0401　東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階（私書箱240号）

営業時間　午前10：30～午後6：30
（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57650　01-200512
Printed in Philippines